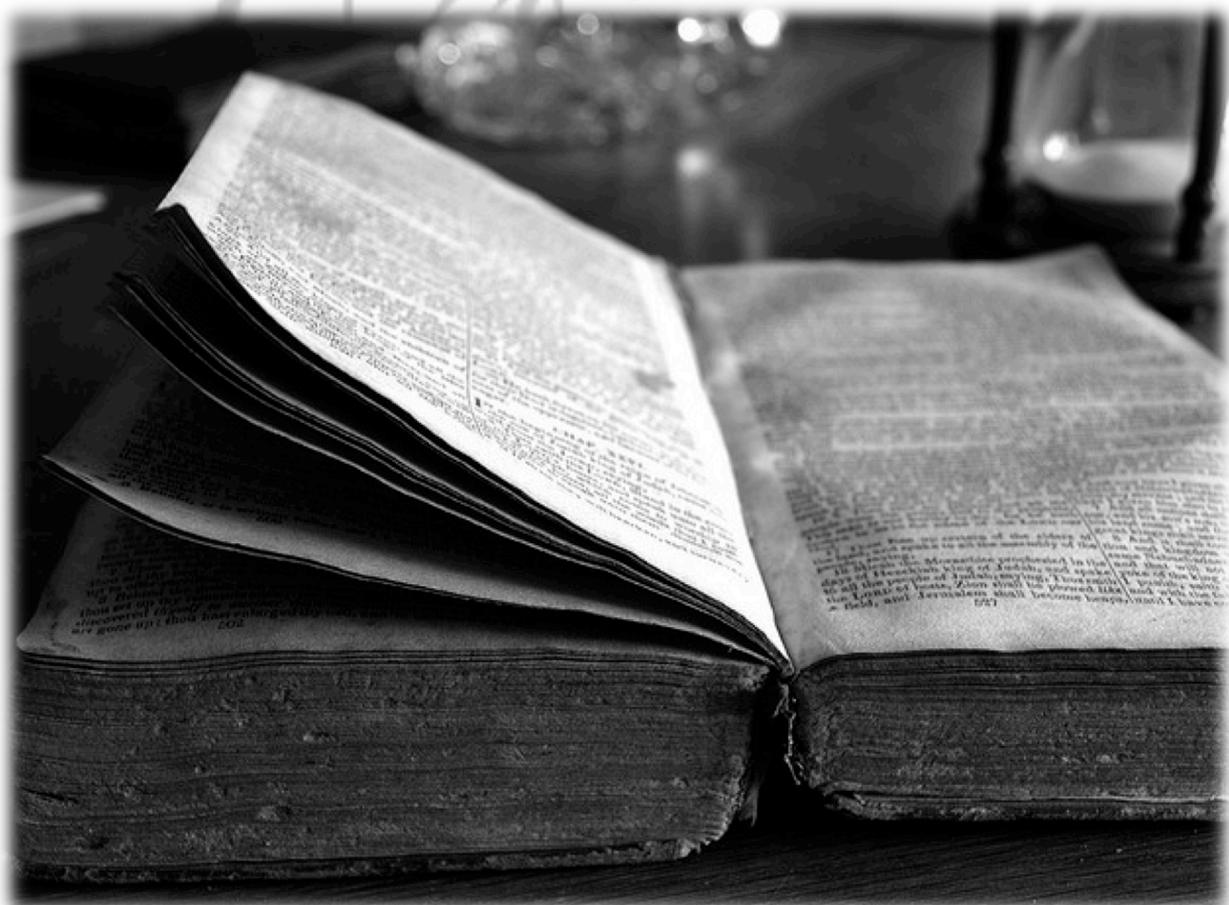


はじめよう 聖研リーダー

Part1



はじめに

「人がもし監督の職につきたいと思うなら、それはすばらしい仕事を求めることである」ということばは真実です。テモテへの手紙第一 3:1

聖研リーダー・学内役員はある種の「監督」です。神様の大切な羊の群れに聖書を教え、養い育てます。あなたがどのような経緯でリーダーになったかは分かりませんが、これから「すばらしい仕事」がはじまります。

神のことばを人に届ける働き、それはとても光栄な特権です。「そうか！神様ってこのような方だったんだ！」これから聖書を読む中で、色々な発見があると思います。聖書から罪が示され、悔い改めることもあるでしょう。また、聖研を通して救いに導かれる人も現れるかもしれません。

あの部室、教室、食堂、ベンチ。あなたの大学の中で神のことばが開かれるということは、そこで神が語られるということです。そのことばを聞いて、人は変えられていくのです。

はじめて聖書研究会（聖研）をリードする人。100 回目のリードをする人。どのようなリーダーであっても、牧会・伝道・事務・教えることが求められます。それらは時間と経験を重ねる中で、少しずつ磨かれていきます。

リーダーとしての孤独・悩み・失敗は

避けられないでしょう。しかし今、神様によって与えられた「すばらしい仕事」をあなた自身がしっかりと握り、「あの学内」へと踏み出せるようにエールを送ります。

学内活動から社内活動へ

卒業しても「聖研」が続く！

まるで戦場に放り込まれたかのような感じでした。信仰の友も主事もいない異なる価値観が支配する職場で、私の信仰は日々試されました。そんな中クリスチャンの先輩と毎週金曜日 1 時間早く出社し聖書を読み共に祈る時を持つようになりました。とても聖研なんて呼べるほど準備されたものではありませんでしたが、朝聖書を読み共に祈る交わりに本当に励まされました。時には通りかかった未信者の友人も興味を持って参加してくれる事もあり、毎回 3、4 人の小さな「社内活動」が始まりました。KGK 活動は学生時代で終わるものではなく、むしろ卒業し社会人になってからこそ「学生主体」の本当の意味が試される時が来るという事に気づかされました。

この手引きの使い方

目次

前期

1. PHAT になろう
2. 事務：聖研の初回
3. 教える：聖研の第一歩
4. 宣教：歓迎する聖研
5. 牧会：グループのケア
6. 教える：良い質問
7. 教える：議論
8. 牧会：祈り
9. 事務：広報&アピール
10. 事務：年度末・反省会
11. 役員特集：チーム作り
12. 役員特集：年間計画
13. 役員特集：サークル化

後期

14. 牧会：愛と想像力
15. 牧会：リスニング&個人ケア
16. 教える：聖書は宝
17. 教える：観察①
18. 教える：観察②
19. 教える：解釈①
20. 事務：引継ぎ
21. 教える：解釈②
22. 教える：適応①
23. 教える：適応②
24. 付録：ジャンルについて

誰のためのブックレット？

- 聖研リーダー
- これから聖研リーダーになる人
- 学内役員

ブックレットの内容

- 1回30分の内容
- 全体で20回分の学び
- 一度に二つのテーマを学んでも良い

どうやって使うの？

- 一人で熟読
- 学内の役員会で読書会
- 後継者と一対一で読む
- 主事と一緒に読む

使い方の例

- 聖研リーダーコース：全部
- 時間がない人のためのコース：
2,3,4,6,10
- 役員会コース：
1,2,11,4,5,8,9,12,13

1. PHAT になろう

クリスチャンリーダーシップ

リーダーは、つつい自分の能力や目の前の仕事に捕らわれがちですが、クリスチャンリーダーシップは自分中心や仕事中心ではなく、メンバーひとりひとりの成長を大切にします。

👉 上のことをまとめると...



クリスチャンリーダーの目的は？

👉 コロサイ 1:28-29 とエペソ 4:11-13 から答えてみましょう。

キリストにある成人

キリストにある成人とは、頭、心、手がキリストによって変えられている人です。



頭

キリストらしい考え方



心

キリストらしい態度



手

キリストらしい行動

このコースでは、以下の4つの分野を学んでPHAT（発音はFAT “太っている” と同じ)なリーダーを目指します！

あなたはどの分野が得意だと思いますか。なぜそのように思いますか。どのようにしてこの分野を生かすことができるでしょうか。

あなたはどの分野が苦手だと思いますか。なぜそのように思いますか。どのようにしてこの分野を克服できるでしょうか。

牧会 Pastor

メンバーのケアを行う：

- 新来会者を歓迎する
- 一人ひとりのメンバーの成長を励ます
- メンバーと個人的に会う
- 交わりを大切にする
- 犠牲を払ってメンバーに仕える
- グループと共に、グループのために祈る
- キリストの弟子として、群れの模範になる

宣教 Heart for Others

メンバーが伝道の思いを持つように励ます：

- ノンクリスチャンを招きやすい聖研を行う
- メンバーの個人伝道を励ます
- KGKの伝道を支える
- 友人の救いのために祈る
 - ・ 互いに仕え合うことを励ます
 - ・ 世界宣教に関心を持つ

事務 Admin- istrator

聖研グループに必要な事務を行う：

- 聖研開始時期を予め計画する
- メンバーの出席を記録する
- ブロック・地区のKGK集会をアピールする
- 献金を集める
- 当番表を作成する
- イベントを企画する
- 聖研の告知をする
- 主事に日程を知らせる
- 総会・反省会を年2回開く
- ブロック祈禱課題を月1回送る

教える Teacher Facilitator

聖研の準備を行い、メンバーが神のことばに生きるように励ます：

- 御言葉を中心とした交わりにする
- 事前準備を大切にする
- 教え方の工夫をする
- メンバーが聖書を読むように励ます
- ディスカッションをうまくリードする
- 観察・解釈・適応をバランスよく行う

2. 聖研の初回

学期始めの集会

最初の聖研は非常に重要で、事務的な仕事が多いので、しっかり備えましょう。

- 新来会者を歓迎するためにお菓子や音楽などを準備
- 自己紹介を行う
- 学内役員に名簿を回して、最新の連絡先があるか確認する
- 連絡方法を定める（Line or Facebook or メール?）
- 年間イベントの告知
- 「聖研」の説明をする
 - ①歓迎しているという意味（参加者の条件＝誰でも歓迎）
 - ②気軽にいつでも何でも発言してよいこと
 - ③問はあるが、正解があってそれを当てるスタイルではないこと
 - ④但し、基本的には「聖書が何を言っているか」を探求すること
 - ⑤「祈り」「賛美」などの宗教的プログラムの説明
 - ⑥毎週集まるという前提

自己紹介ゲーム

どのようなゲームがふさわしいでしょうか。交わりを盛り上げながらも、メンバーが互いに個人的なことを分かち合えるものがベストです。

人生マップ

1. ひとりひとりに日本列島の絵を書いてもらう。（技術に差があっても構いません。それぞれの変な日本地図を楽しむのも一つの目的です）。



2. 地図に、それぞれ次の印を付ける。

- 出身地／育った地域
- 思い出の場所（家族と旅行に行った場所、親戚の家など）
- 神様との関係を表す場所（理由付けは自由に考えてよい。例. 北海道→今は神様から離れているから神様との関係が冷たい気がする。海の中→今は何も分からない状態。東京→今は忙しいから神様のことを考えていない。ノンクリスチャンも参加しやすいように丁寧に説明しましょう。）

3. 最後に、名前・学年・学部などに加えて、それぞれが書いた地図を紹介する。

マーブルチョコゲーム

マーブルチョコの各色に関して一つの質問を考える。（好きな色、生まれた所、人生で一番恥ずかしかったことなど）。メンバーに予め質問を伝えず、チョコを取ってもらう（取る数も自由）。全員チョコを取った後、質問を発表し、それぞれチョコに対する質問に答えてもらう。（例：5色取った人は5つの質問に答える）。



「神」ことば

色々な形容詞を紙に書いて床に広げ、メンバーに「神様と自分の関係を表す言葉」を選ぶように伝え、一枚拾ってもらう。それぞれ選んだ後、なぜその形容詞を選んだのかを順番に説明してもらう。

近い	優しい	恐れている	こわい	安心	命	孤独	大切	支え
遠い	友達	生き生きしている	分からない	変	慎重	苦難	平和	停滞
探している	不思議	新しい	愛している	疑い深い	面白くない	質問がある	理解できない	きれい

年間活動計画

- メンバーと話し合っで決めるか、リーダーが決めたものに対して意見を募る
- 学期初めから、聖研の司会者を割り振っておくとよい
- リーダーでない人の参加を励ますために、お菓子当番を依頼する

名簿

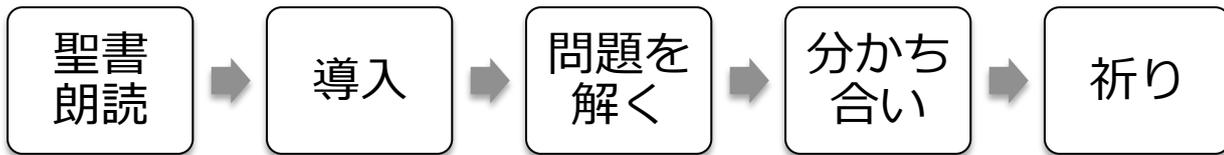
- 新来会者が来る度に更新する
- 学内役員で誰が誰をフォローするか話し合い、ひとりひとりの状況に合わせてフォローする
（例：最近参加していないメンバーに時々メールする）



3. 教える：聖研の第一歩

1. グループ聖研の流れ

グループ聖研は一般的に次のような流れで行われます。



最低限、留意しておいたら良いことは以下の通りです。

- ・ 1グループあたり 4-7 名が話しやすい。
- ・ 一般的な時間の目安は、1-2 時間。
- ・ 観察をしっかりとしないと、解釈・適用が的外れになる。

2. 司会者の準備

司会者は、以下の準備をすると良いでしょう。



- ①,②理解を与えてくださるよう主に祈った後、聖書箇所を読む。テキストの前後の箇所も読む。
- ③わからない語句を注解書や聖書辞典などで調べる。別訳聖書、注解書、聖書辞典、引照などが役立つ。なお、注解は読むとわかった気になるが、実際はわかっていないことも多い。自分の言葉で表現・理解することが大切。
- ④その回のテーマを決めておくと、ディスカッションがぶれない。
- ⑤実際に、自分で聖研問題に答えてみる。問題を吟味して、削る問題や時間配分を考える。

3. 司会者の心得とコツ

①導入を丁寧にやる。ひとたび聖書に入れば、初参加者や未信者は沈黙していきがち。導入で出来る限り話しやすい雰囲気を作る。導入は大きく脱線してもよい。

②司会者の発言はひかえめに。司会者がたくさん話すと、聖研全体が作為的な雰囲気になる。信頼できるクリスチャンメンバーが他にいる場合は、発言を控えめにする。

③司会者自身も楽しみ、教えられる。司会者は事前に聖書を読んで調べるために、道筋も見えていて新しい発見をしにくいかもしれない。しかし、司会者自身が他のメンバーの読み方・気づきから新しい発見をしていく姿は「一緒に学ぶ」雰囲気を作り出す。聖書は広がりがあり、メンバーそれぞれの気づきによって理解が深められる豊かさを持つ。

④未信者や初参加者の発言をどんどん拾い、広げる。興味を持って「もっと教えて」「それはこういう意味？」など話を広げていく。

⑤沈黙にびびらない。

- ┌ 良い沈黙…それぞれが思い巡らし、御言葉の深みにうなっている
 - └ 悪い沈黙…質問が意味不明、「早く次の質問に行ってほしい」etc…
- 良い聖研は、良い沈黙がある聖研である

⑥無理に見解を統一しない。語られている主題は一致すべきだが、感想はそれぞれ。

⑦時間を守る。意外とこのせいで離れる人がいる。時間が足りないならば誘って一緒に食事に行く。

⑧答えられない質問にびびらない。参加者の疑問に全て答えられなくてもよい。司会者は牧師ではない。むしろ、クリスチャンでも分からないが多いのを認めることは、未信者にとって安心感を生む。原則は一緒に考え、学ぶこと。

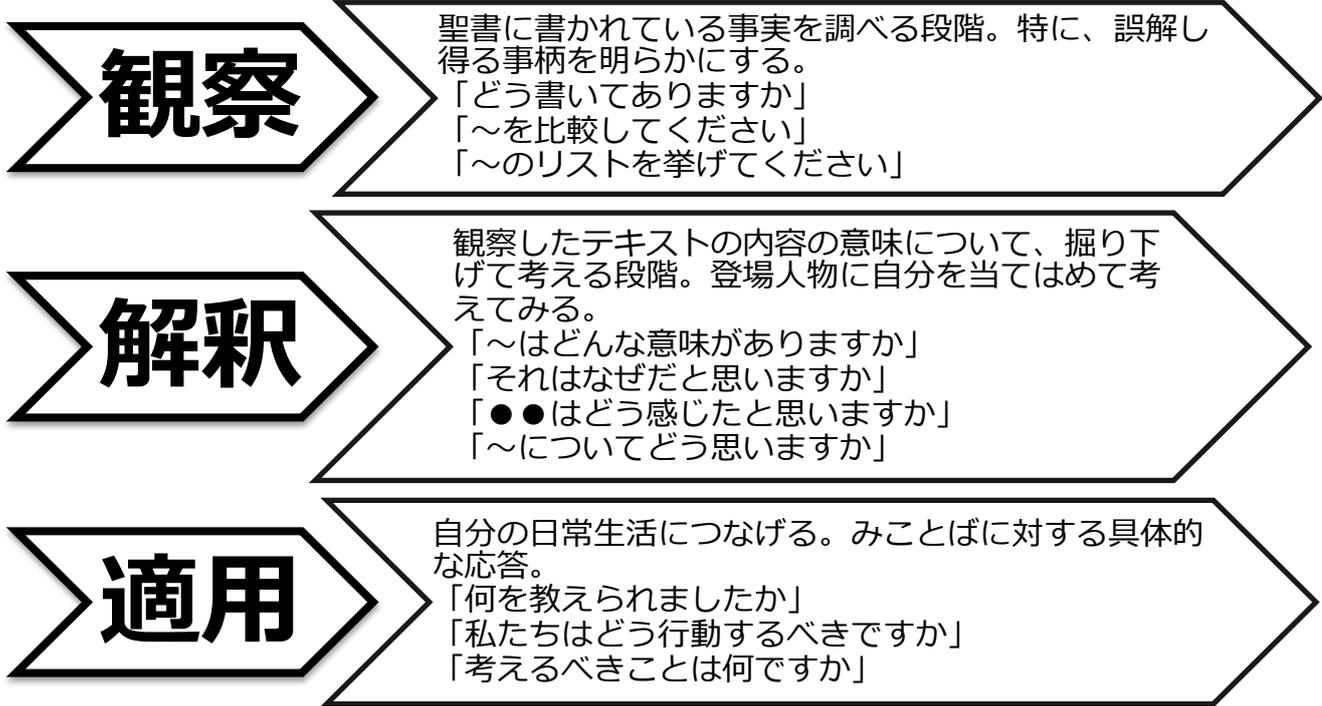
⑨聖書以外の資料を使うのはほどほどにする。その日の箇所以外の箇所や、聖書以外の資料（辞書や視覚教材）はあってもいいがほどほどに。なるべく聖書本文から探求するようにする。

⑩顔を見て聞く。メモばかりとって顔を見ない人は意外と多い。メモをするより、相手の顔を見て聞く。

4. 質問の流れ

聖研を準備する際に覚えるのは、「①観察→②解釈→③適用」という聖書を学ぶ順序です。

私たちはこのプロセスの流れに沿って聖書を理解します。



聖研準備のプロセス

①自分で聖書箇所を理解する

何をする	どうやって？
慎重に聖書箇所を読む	<ul style="list-style-type: none">➤ 聖書箇所を印刷する➤ 聖書箇所を何回か通読する➤ 大切な部分を丸で囲み、分からない部分の下に線を引く➤ 自分が聖書箇所に対して抱いた質問を書き出す➤ 時間をかけて聖書箇所を自分の生活に適用させる（これを実践するためには、数週間前から準備を始める）
理解を深める	<ul style="list-style-type: none">➤ 関連している他の聖書箇所を読む<ul style="list-style-type: none">▪ 箇所の直前・直後に来る聖書箇所や、聖書全体の中の関連する箇所を読む▪ その箇所に出てくる難解な用語を調べる➤ 箇所に関する他の資料を調べる<ul style="list-style-type: none">▪ 注解書を読む▪ 聖書辞典で聖書箇所に出てくる時代の文化・伝統・歴史的背景を調べる▪ 聖書箇所についての説教・信仰書を参考にする
聖書箇所の理解を明確にし、メンバーとの繋がりも考える	<ul style="list-style-type: none">➤ 聖書箇所のテーマを書き出す➤ それがどのようにメンバーと繋がっているか考える

②メンバーが聖書箇所を理解するための方法を考える

何をする	どうやって？
理解する方法を考える	<ul style="list-style-type: none">➤ 聖書箇所のテーマを意識しながら、聖研の目的を書き出してみよう。メンバーにどう変わって欲しいですか？➤ 観察の方法を考えよう：聖書箇所の中で観察して欲しい部分はどこですか？どのようにメンバーにその部分を発見してもらいますか？➤ 解釈の方法を考えよう：聖書箇所を理解するために解釈する必要がある部分はどの点ですか？ 個人的に振り返るための質問を考えよう。➤ 適用の方法を考えよう：この箇所を読んで起こってくる応答は何ですか？個人的に応答するためには何が必要ですか？➤ 観察・解釈・適用の質問を読み返し、聖研の目的につながるか振り返ろう。必要あれば書き直そう。

③評価：この方法は成功するのか？

何をする	どうやって？
評価する	<ul style="list-style-type: none">➤ 聖研の流れを振り返る。聖研の目的がはっきり表れているか？メンバーが観察・解釈・適用できるように成り立っているか？➤ 質問は理解しやすいか？ 工夫できる部分がないか？➤ さらに深く聖書箇所を理解するために、付録の質問を考えているか？➤ どのように祈る時を持つか？➤ ノンクリスチャン向けの質問に配慮しているか？➤ 時間内に収まるか？

④聖研を行った後に振り返る

何をする	どうやって？
聖研を実際に行う	<ul style="list-style-type: none">➤ 聖研をリードするために必要な資料は？➤ 聖書箇所のテーマと聖書箇所の目的をしっかりと意識しているか？それを頭に入れておくことで、メンバーをより良く指導できる。
聖研を振り返る	<ul style="list-style-type: none">➤ メンバーは聖書箇所のテーマを理解できたか？➤ 聖研の目的を達成できたか？➤ 観察・解釈・適用をバランスよく問うたか？➤ 聖研の中で良かった点・改善点は何か？➤ 時間はどうだったか？➤ メンバーの対応はどうだったか？➤ リーダーとして一番難しかったことは？➤ 次に行う際に心がけたい点は？

「聖研テキストを使ってリードする場合は？」

- まず自分で聖書を理解しよう：他の人の意見を聞く前に、自分で神のことばを理解しようとする者になるう。
- 質問を自分のものにする：聖研テキストの質問をそのまま使うのではなく、必要に応じて自分なりに変えてみよう。聖書箇所のテーマと聖研の目的を意識しながら、質問を用いよう。
- グループメンバーのために聖研テキストを編集しよう：聖研テキストの作者はあなたのグループメンバーを知りません。聖研テキストを振り返って、自分のグループメンバーに合った質問、適用を考えておこう。



4. 宣教：歓迎する聖研

聖研というのは、ノンクリスチャンがイエス・キリストに初めて出会う場所でもあります。聖書を勉強し、他人と祈り合い、交わりを持つことを通して、ノンクリスチャンがイエス・キリストを深く知って愛するようになるのです。

なぜノンクリスチャンに聖研に来てほしいのか

ルカの福音書 15 章 8 – 10 節

使徒の働き 8 章 26 – 40 節

ノンクリスチャンを誘いたくない／誘えない理由は？

聖研は、福音的な生き方を分かち合う場です。聖研に参加したノンクリスチャンはその交わりを通してイエス様を信じる生き方を体験します。だから、ノンクリスチャンのために聖研を行う時には、普通の楽しい聖書を囲んだ交わりを行えばいいのです。毎回「キリスト教入門」をするより、ノンクリスチャンに直接、神の言葉を読んでもらえばいいのです。

聖研を来やすくするコツ

1. ノンクリスチャンの友達ではなく、クリスチャンのあなたが「変」なのです！

- ・ ノンクリスチャンが聖研に参加しても、焦らず、落ち着こう
- ・ 何をしているかを説明しよう
- ・ クリスチャンの集まりが、ノンクリスチャンにとって普通でないのは当然
- ・ メンバーがノンクリスチャンと自然に関われるように助けよう

2. 新しいことにチャレンジしてみよう...

- ・ ノンクリスチャンの意見も聞き、その視点を理解することを心がけよう
- ・ 聖研のプログラムを変える柔軟性を持とう
- ・ ノンクリスチャンがリラックスできるカフェ、食堂、公園で集まるのもあり

3. 好きに参加できる場にしよう

- ・ ひとりひとりに祈りを勧めない（グループに分かれて祈るなら3人以上）
- ・ 順番に答えをを求めるより、「皆さんの意見が聞きたいです。どう思いますか？」と全体に向けて質問をしよう
- ・ 「ノンクリスチャンには絶対に祈らせない」と決めずに、ノンクリスチャンでも謙遜に祈れるように助けましょう
- ・ できるだけグループに参加してもらおう（お菓子の当番などを任せるのもよい）

4. 祈り会が大切

- ・ 祈り会は、未信者のために祈る場でもあります。
- ・ 最近、未信者の友達の名前をあげて祈っていますか？
- ・ 学内で行われる伝道イベントのために祈っていますか？

ノンクリスチャンが分かりやすい学び

私たちが聖書を教える時にノンクリスチャンに求めているのは：

- ・ 福音を聞くことによって、自分の生活と福音がどう繋がっているか理解してもらおう。
- ・ クリスチャンの生き方を見ることによって、神様の言葉が実際的であることを知ってもらい、キリスト者の生き方をしている自分を想像してもらおう。
- ・ 聖研の大切な一員として参加してもらおう。

キリスト教用語に注意

もちろんキリスト教にも専門用語はあります。キリスト教用語と言われるものは、聖書的思想・象徴・伝統から成り立っているものです。キリスト教用語は、私たちが信じている内容を理解するために役立つものです。

ノンクリスチャンが聖研に来る際、私たちはクリスチャンらしい話を全くやめる訳ではありません。その代わりにキリスト教用語が正しく理解されるために、丁寧に説明する必要があります。新たに参加したノンクリスチャンが聖書を理解し、話し合いに参加できるように説明することは大切です。

 これまでの聖研で出てきたキリスト教用語を思い出してみよう。ノンクリスチャンに分かってもらうためには、どのような説明が必要ですか？

「私たち(クリスチャン)」vs「彼ら(ノンクリスチャン)」の構図を作らない

私たちは聖研にクリスチャンばかり来ていることに慣れてしまい、聖研はクリスチャンだけの場所だと思いこんでしまうことがあります。そうすると、「私たち KGK」「私たちクリスチャン」というように全員クリスチャンという仮定を持ってしまうことがあります。このような態度はノンクリスチャンに疎外感を与えます。

 どのような場合に「私たち」という話し方になってしまいがちですか？グループメンバーがノンクリスチャンを迎え入れるために何ができますか？

自由に参加できる雰囲気

聖研ではクリスチャン向けに質問することが多いです。（例えば、個人の祈りの生活について話し合ってもらおうなど）。このような質問は神様の御言葉への素直な応答として必要であり、ノンクリスチャンもその答えを聞くことが益になります。しかし、クリスチャンでなくても答えられる質問も大切です。質問を考えてくるとき、クリスチャンの答えを聞きながらも、ノンクリスチャンが自分の意見が言えるように工夫して質問を作ってみよう。

 ノンクリスチャンでも答えられる導入の質問を考えてみよう。

はじめて聖研に参加した証... 2014年津田塾大卒 高山祐美子

私がはじめて聖研に参加したのは、大学に入学してすぐでした。何のサークルに入ろうかと考えていたとき、TCF（津田クリスチャンフェローシップ）を見つけたのです。受験で勉強した世界史にキリスト教の出来事が多く出てきて、「ちょっとキリスト教でも勉強してみようかな」といった軽い気持ちで参加することにしました。

キリスト教とは無縁の人生を送ってきた私は、はじめTCFのメンバーが皆さんクリスチャンであることに戸惑いを感じました。「キリスト教の神様を全然信じておらず何も知らない私が、ここにいていいのだろうか？」しかし、TCFの先輩方は私がノンクリスチャンであることをむしろ歓迎して、温かく迎えてくれました。

聖研では、正直分からないことだらけでした。まず、基本的な単語、例えば「この世」「人の子」が何を指しているのか分からないし、新約を読んでいて突然旧約の内容が入ってくると頭はクエスチョンマークでいっぱいになってしまいました。周りはみんなクリスチャンホームで育った方々ばかりだったので、「こんな簡単なこと聞いちゃっていいのかな」と思いながらも、知らない単語やフレーズにぶつかる度に私はどんどん質問していきました。その都度、みなさん丁寧に教えてくださり、むしろ「こんなところを疑問に思うなんて思わなかった！確かに難しいね！」と、私の質問のおかげでより聖研が面白く、深くなっていったようでした。神様を全然信じてないよそ者の私を、温かく差別なく受け入れてくれる先輩を見て、「クリスチャンって優しいなあ」と思いました。

もう一つ、クリスチャンのイメージが素晴らしいものになったのは、祈りの時間です。学びが一通り終わると、メンバー一人ひとりが自分の近況を伝えあい祈ってもらいたいことをシェアして祈りあうのですが、私にとってそれはある意味カルチャーショックでした。一般的な日本人は、祈るとすると神社などに行って手を合わせ、「自分のこと」しか祈らないのが普通です。「〇〇大学に受かりますように」「健康でいられますように」など。しかし、クリスチャン同士の祈りは、相手の幸せを祈り、また時にその相手の友人など自分が会ったことない人のことまで祈るのです。人のことを思いやり愛するクリスチャンを育てる神様、イエス様って何者なのだろうと考え始めたのです。

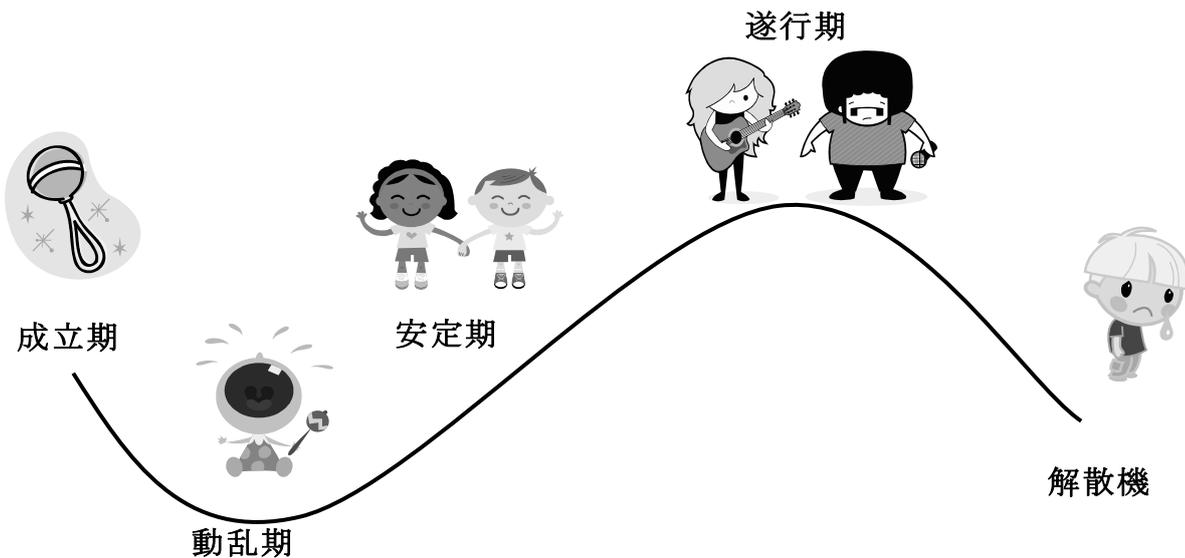
聖研、そして素晴らしいクリスチャンとの交わりを通して、4年生のクリスマスに洗礼を授けられました。今は、イエス様の愛に依り頼みつつ、仕事に励んでいます。

今、どうやって聖研を通して伝道したらいいだろう？と悩んでいる方がいらっしゃったら、私が伝えたいことは一つだけです。「クリスチャンであるありのままの自分であること」です。小さい頃からイエス様の愛を一身に受けたあなただから、その愛はそのままノンクリスチャンの心に伝わっていきます。導かれたキャンパスが良き伝道の間となるように、遠くからお祈りしています。

グループの一生

グループの一員になることは一人よりも複雑です。グループが始まる際、メンバーのひとりひとりは色々な疑問を持っています。「本当にメンバーになりたいのか?」「このグループってどういう所?」「自分の居場所はあるの?」「他のメンバーとどのような関わりを持っていけばいいの?」、このような疑問を意識しながらリードする必要があります。また、グループが通るいくつかの段階を把握することも大切です。

タックマンモデル



右の説明を読みましょう。タックマンモデルの5段階は経験したことがありますか（教会やゼミなどでも）。

グループの一生を考えると、リーダーとしての意識はどのように変わりますか。

期間	起きていること	リーダーの役割
<p>成立期</p> 	<p>グループが出会い、探り合いが始まる。</p> <p>メンバーがそれぞれ独立しており、心を開いていないことが多い。</p> <p>ひとりひとりが自分の役割を理解している。</p> <p>特徴：丁寧に話す、不安、リーダーに従って行動</p>	<p>強く、はっきりと指導する必要がある。</p> <p>メンバーの模範となり、グループに対しての正しい期待を持つようにメンバーを励ます。</p> <p>他のメンバーも「グループ成立」に参加できるように、自由に話してもらう。</p>
<p>動乱期</p> 	<p>意見を分かち合うようになる</p> <p>異なる考えや観点に対して、敵対心もしくは反抗心が芽生える。</p> <p>特徴：反抗的、無関心</p>	<p>衝突することもあります、それは当然のものとして受け入れましょう。</p> <p>メンバーの間に信頼関係が築かれるように励ます。</p> <p>いろいろの発言を受け入れながらも、ネガティブなものを訂正する。</p> <p>メンバーの個人的なケアが重要。</p>
<p>安定期</p>	<p>一緒に活動する段階。</p> <p>他人の考え方を受容する。</p> <p>目的、役割等が一致しグループ内の関係性が安定する。</p> <p>特徴：熱意的、安心、創造的</p>	<p>メンバーの模範になる。</p> <p>ディスカッションではふさわしい答をして模範となる。</p> <p>メンバーひとりひとりが責任を取るよう励ます。</p>
<p>遂行期</p> 	<p>よく組織されたグループとして機能する段階。</p> <p>グループに結束力と一体感が生まれ、目標に向かって一丸となる。</p> <p>特徴：メンバーが互いに素直に語れる</p>	<p>メンバーの責任をさらに増やし、時にはメンバーにリードしてもらう。</p> <p>信頼関係が深まって来たグループは聖書から離れ、交わりのみを重視する危険性がある。交わりと聖研が両方できるように指導する。</p>
<p>解散期</p>	<p>グループの終わり</p> <p>これまでの学びを振り返り、達成した目的に感謝する。</p> <p>特徴：寂しい、振り返る、感謝</p>	<p>これからもう集まらないことに対応できるようにメンバーを助ける。</p> <p>一緒に振り返り、一緒に感謝する時間を持つ。</p> <p>ひとりひとりが今後の活動について計画が立てられるように助ける。</p>

フォローアップ

リーダーの役割はグループ全体の状況を把握すると同時に、各メンバーがグループの一員である感覚を持てるようにフォローすることです。

名前 週	1	2	3	4	5	休暇	6	7	8	9	10	11	12	13
白雪 姫														
新 照裸	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×
桃 太郎	×	×	×	×	×									
豆木 次空	×			×				×	×			×		

× 出席を示す

 上の出席表によると、各メンバーは今どのような状況にいますか？どのようなフォローが必要だと思いますか。

出席表を作るのは始まりに過ぎません。それを元に、それぞれの事情を知ることが大事です。上の表の人物の状況が以下に書かれています。一人ひとりの事情を知ることによって、彼らに対する行動も変わってくるでしょう。

白雪 姫 姫ちゃんは熱心なクリスチャンです。聖研に参加したいと思っていましたが、新歓の際に電話がこなかったのが聖研の場所や日程が分かりませんでした。実は、リーダーが持っていた姫ちゃんの携帯番号が間違っていたのです。でも、メールアドレスは正しかったので、ずっとメールを待っていたのですが、誰も連絡してくれませんでした。

新 照裸 照裸ちゃんはいじめな人です。教会には行っていませんが、昔から聖書を深く読んでみたいと思っていました。聖研に参加しようと思ったとき、毎週行くというのが前提だったので、それを心がけました。前期は毎週行く予定だったけれど、後期はまだ分かりません。また後で決める予定です。

桃 太郎 太郎くんは最初、毎週聖研に来ていましたが、途中、事故にあってしまいました。事故の怪我のせいで今は聖研にも行けておらず、授業にも出にくくなってしまったのです。

豆木 次空 次空くんは人気ものだけれど、聖研に集中して行っていません。聖研には参加したいと思っているけれど、自己管理が苦手なため、毎回聖研のことを忘れて帰っているのです。聖研のメンバーは次空くんが来ることを楽しみにしているので、来れないと聖研の雰囲気も暗くなります。

出席表を作成する

事務を上手にするには管理方法が必要です。自分にとって管理しやすい出席表を作ろう。

習慣にする

記録を毎回取らないと意味がありません。いつ、どのように記録するのか決めておこう。

よい牧者になる

出席を取るだけで終わらず、「この人をケアするには次回どうすればいいのか？」と考えながら集めた記録を振り返ることが大切です。



6. 教える：良い質問

良きガイドになるために

KGK では学生の主体性を重んじているので、メンバーである学生が活発に発言することによって聖研が成り立ち、面白い聖研になっていきます。しかし、だからと言ってリーダーが必要ないわけではありません。むしろメンバーが主体的に聖書を読み、聖書に聴き、互いに聞き合うためにリーダーの役割はとても大切です。

面白い聖研とはどのようなもののでしょうか。それは、自分で新たに気づいて学ぶ聖書研究です。人から押し付けられてではなく、自分で考えながらも、他のメンバーから教えられる聖書研究です。そして本音で語り合える聖書研究であり何よりもそこに主のご臨在がある聖書研究です。

あなたが学内で未信の友人とみことばを読む時、あなたは主がその人の魂を捕える機会を提供することになるのです。みことばはあなたにも、あなたの友人にも生きて働きます。みことばは私たちの存在の根底を揺り動かす力強いものです。生ける神への信仰こそ私たちが聖書研究を行う大切な動機なのです。

(KGK 2010、学生の伝道、p.23)

聖研は説教ではないので、リーダーの役割は、メンバーが自ら学べるように導くことです。御言葉がメンバーの心に刻まれ、それによってメンバーの生活が変えられていくことを願いつつリードします。

2 種類のガイド

ガイドの種類には JTB ツアーガイドとサファリガイドの 2 種類があると言えます。

<ul style="list-style-type: none">• 厳密なプログラムに従ってガイドしている。• 行く場所がすべて決まっている。• バスの中から外の名所を紹介する。	<ul style="list-style-type: none">• 名所、危険なところ、そして帰り道はだいたい分かっている。• ツアーメンバーが自由に探検するのを見守りながら、危険物に関して注意したり、名所を勧めたりする。
<p>JTB ツアーガイド</p> 	<p>サファリガイド</p> 

 各ガイドの良い点と悪い点はなんでしょう？ このガイドのようなリーダーシップを経験したことがありますか？ あなたはどのようなガイドになりがちですか？

私たちの聖研は「サファリガイド」を目指しています。質問もサファリガイドを思い浮かべながら形成します。メンバーがリーダーの指示に従って学ぶよりも、自ら聖書から発見することを目指しているのです。

良い質問

黙想のプロセスを助け、ディスカッションを盛り上げる質問をするには練習の積み重ねが必要です。以下に質問の例を紹介します：

・ 「閉ざされた」 質問

- 答が限られている。例えば「はい/いいえ」しか答えられない質問です。
- 何かを明確にしたい時に役に立ちます。しかし、ディスカッションを妨げることもあります。
- Ex. 「イエス・キリストはマルコ 3 章では人を癒す力を持っていますか？」

・ 「開かれた」 質問

- 異論の多い質問です。メンバーの自由な意見を求めます。
- 正しい／間違っているは問われないので、メンバーが安心して答えられるのです。しかし、時々「開かれた」質問は曖昧な結論に至ることもあるので、その場合はリーダーがディスカッションをまとめる必要があります。
- Ex. 「この箇所から気づいたことを自由に分かち合ってください」
- Ex. 「神の国は近づいた」という発言を通して、イエス・キリストは何を言おうとしていたのでしょうか？」

- ・ **誘導尋問**

- 誘導しないのが良い質問です。メンバーに無理に答えや結論を押し付けるのではなく、メンバーが自由に答えを言えるように励ますのが大切です。
- Ex. 「パウロはイエス・キリストに拠り頼んでいたから「喜びなさい」と言っていたと思いますか。」

- ・ **「今、私（司会者）が考えていることは何でしょう？」**

- 自分の考えを正解として答えさせる質問はよくないです。難しい答えが一つしかないときに起こり得ます。
- Ex. 「イエスのバプテスマの水は、モーセの時代の何を表していましたか。」

- ・ **メンバーが答えやすい質問**

- メンバーに、それぞれが経験したことについて分かち合ってもらおう。
- Ex. 「これまでマルコの福音書を読んでイエスについて学んできましたが、あなたにとってイエスのどのような点が印象的でしたか？」

- ・ **想像力を働かせる質問**

- メンバーが想像力を働かせて答えられる質問をしよう。
- 絵・スキット・図を使った質問は、記憶に残るのでおすすめです。一工夫で忘れられない聖研にしよう！
- Ex. 「このストーリーをマンガで書いてみましょう。」

例 マルコ 4:1-20

 この箇所を使って、質問を考えてみましょう。

開かれた質問

閉ざされた質問

答えやすい質問

想像力を働かせる質問

互いの質問を評価してみよう。ディスカッションのために役に立つと思いますか？

おすすめ | 聖研を準備する際、求めている答えや議論を意識しながら質問を考えましょう。質問が良いディスカッションに繋がるか考えましょう。



7. 教える：議論

🌀 ディスカッションをすると、お互い熱くなって議論になることもあります。これはよいことですか？悪いことですか？なぜそう思いますか？

いい議論を求めよう

「議論を避けてはいけません。議論の後に秩序を取り戻し、意義深い結論に導けるかについて、リーダーとして心配するかと思いますが、人は熱くなっている時こそ成長するのです。議論になっているということは、人が自分の信仰や価値観と向き合っていることなのです。この葛藤こそが学びと成長に繋がるのです。しかも、退屈でないのです。議論を避けしないで、歓迎してください。」

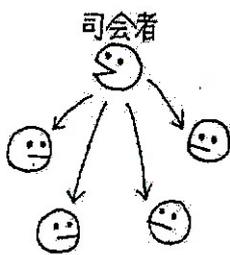
(Marshall, *Growth Groups*, p.52.)

どのように議論を励ませばいいの？

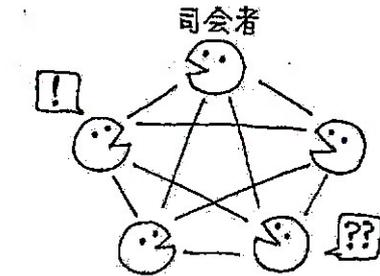
特に新しく始まったグループは、積極的な議論を行えるように配慮する必要があります。リーダーとしての役割は、安心して議論できる場所を築き上げることです。

🌀 良い議論の特徴は？	🌀 悪い議論の特徴は？

好しくないかたち① 理想的な話し合いは...

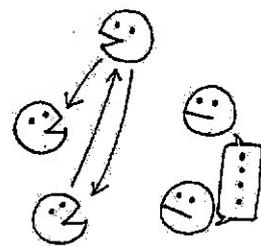


扇型



星型のかたち！

好しくないかたち②



対話型

以下の方法を使って議論できるグループを築き上げよう：

色々な意見を聞く - 明らかに間違った考えでも一旦受け入れ、グループ全体にその考えについて話し合ってもらおう。グループ内で解決できない時だけリーダーとしての意見をはっきりと言う。

議論になるように工夫しよう- わざと反対意見を言ってみて、メンバーに反応してもらおう。

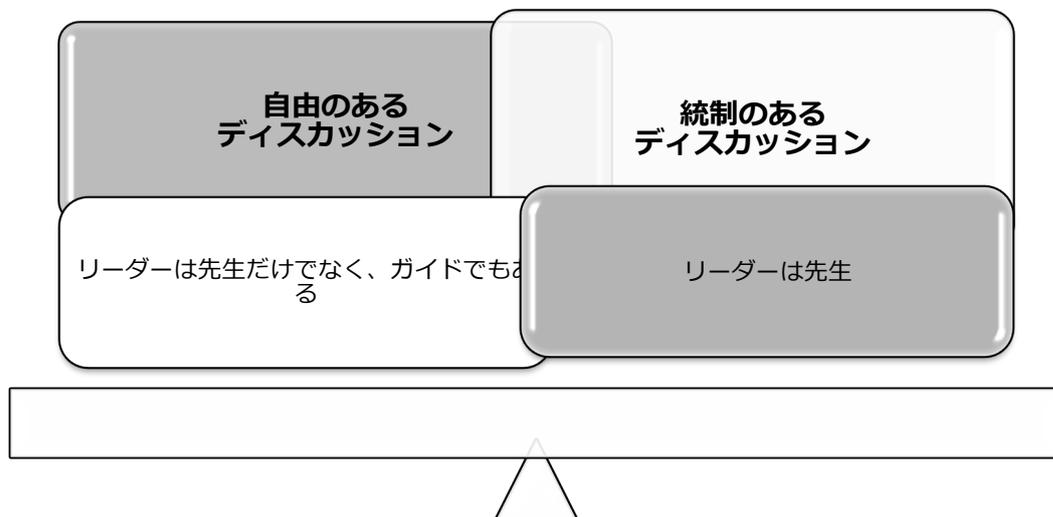
議論を質問に取り入れよう-

- ディベートをしてみる。例：パリサイ派と弟子達になって話し合う。「聖書は神のことば」「人間のことば」に分かれて話し合う。どちらが正しいかを判断するより、理解を深めるために効果的です。
- 2つの訳の聖書を持ってきて、どちらが好きか意見を出し合う。

 **次回の聖研で、積極的な議論をどのように励ましますか？**

バランスが大事

議論や意見を交わすことは、自由に話せる場だからこそ可能です。メンバーが綺麗な模範解答を言うだけで終わらず、真剣にお互いに向き合う瞬間です。しかし、聖書に基づく活気のある聖研をするには、自由と統制のバランスが必要です。自由に議論することを勧めながらも、リーダーは意見をまとめたり、問題の解決を提案したり、物事をはっきりさせたり、建設的な話し合いの模範になります。聖書の真理を大切にしながら、自由な話し合いを目指しているのです。





8. 牧会：祈り

👉 第1テサロニケ 5:16-18 によれば、いつ・どのような祈り方が勧められていますか。

👉 今の聖研での祈りの仕方を考えてみよう。いつ、何のために、誰が祈っていますか？ 祈りはどのような役割がありますか？

聖研の中と外での祈りの模範となる

祈りというのは、聖書を通して私たちに話して下さる神様に「返事をする」行為です。神様と関係を持つクリスチャンがあずかる特権です。リーダーの祈りは、メンバーに祈りの大切さを伝えます。キリストにある成長という点から「祈り」は重要なので、リーダーが模範となりましょう。

祈りの模範として最近どう？

祈り方を教える

祈り方を知らない人や声に出して祈ったことのない人など、聖研には色々な人がいると思います。皆の前で祈るには助けがいるかもしれません。どのように教えればよいのでしょうか？ まずは、リーダーが前もって祈りの内容を考えてくるのが良いです。

ACTS: 祈りに含まれるもの

Adoration 神をほめたたえる

Confession 罪を悔い改める

Thanksgiving 神に感謝する

Supplication 神に要求する

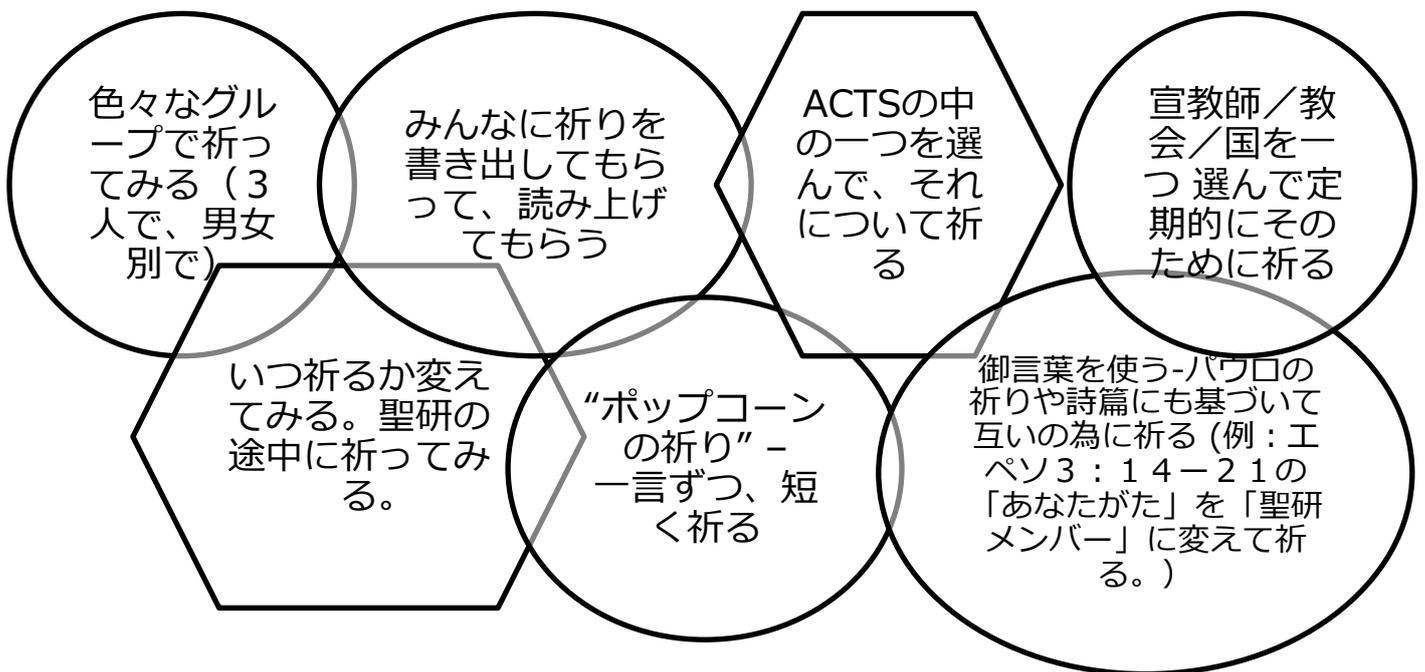
パウロの祈り

- ーマ 1:8-10;
- ーマ 10:1;
- ーマ 15:5-6;
- ーマ 15:13;
- ーマ 15:30-33;
- 第1 コリント 1:4-9;
- 第2 コリント 13:7-9;
- エペソ 1:15-19;
- エペソ 3:14-21;
- エペソ 6:19-20;
- ピリピ 1:3-6;
- ピリピ 1:9-11;
- コロサイ 1:3-14;
- コロサイ 4:2-4;
- 第1テサロニケ 1:2-3

グループ内での祈りを励ます

- 聖研準備の際に、聖研のどのタイミングで祈るかも計画する（聖研前 or 途中 or 後）
- 何について祈るか、いつ祈るか、誰が締めるか決める必要がある
- 定期的に祈ることも大切ですが、時々新しい方法を使って祈るのもお勧め
- 毎回最初や最後に祈らないで、時には途中で祈ったり、時には聖研の1時間全部を祈りに使っても良い
- リーダー以外の方が祈れるように励まそう

新しい祈りの仕方



 今年の活動では、どのような祈りの時を持ちたいですか？他にどのような祈り方がありますか？



9. 事務：広報&アピール

1. チラシの作り方

広報活動は重要なので丁寧に準備します。情報あふれる現代社会の中で、情報戦線生き抜くアピール力をつけましょう。

チラシの中に必要不可欠な記入事項は以下の通りです。

- ①時間…はじめと終わりの時間をしっかり明記。
- ②場所…「いつでも逃げられる場所」に安心して門を叩いた学生もいる。
- ③内容…聖書を学んでいることを誠実に書く。
- ④対象…「対象」という項目でなくても良い。クリスチャンではなく聖書に興味がある人は誰でも来られることを書く。
- ⑤注意…「モルモン教、統一教会、エホバの証人、摂理とは一切関係がありません」と明記。
- ⑥連絡先…アドレスと電話番号の他に実名で名前、学部、学年も書く。KGKのHPのアドレスを載せておくと、参加者が事前に調べることもできて、安心して参加できる。
- ⑦顧問…公認サークルならば、必ず顧問の先生の名前も書く。信頼度増。
- ⑧その他…「聖書貸し出します」「初めての方には新約聖書プレゼント！」など…センスに自信がない場合は、KGKの他の学校のを借りる。

2. 活動の連絡

活動日の前日には連絡すること。最近来ていない人にも、定期的に連絡することを忘れない。学内だけでなく、ブロックや地区の情報も流す。

2014 全国リーダー訓練会のチラシコンテストで優勝した 山形大聖研のチラシも参考になります。

「聖書研究部」略して

せいけん!!

世界一読まれている本
それは「聖書」!!



場所:

図書館グループ学習室

時間:

毎週金曜18:00~20:00

<今年度の活動予定>

◆前期◆

- ・新入生歓迎会
- ・山形大学と合同での日帰り学び会
- ・東北の他大学との合宿

◆後期◆

- ・新大祭
- ・クリスマス会
- ・東北の他大学との合宿Ⅱ



←詳しくは
「せいけん」
ホームページを
チェック!!

アピール

「何でこんなにいっぱいあるの？ 何でこんなに時間がかかるの？ つまらないし、誰も聞いてなさそうだし…」という声もあります。でも、アピールはうまくやれば聖研の助けになるのです。

アピールの意味

 アピールを行う意味は何でしょうか？ アピールを行うことで(聞くことで)メンバーは何を得られるのでしょうか？

聖研の交わりを深めるためのアピール

聖研の仲間と遊び企画をする時、特別伝道聖研を開く時、また他のイベントがある時、聖研のメンバーみんなで行くことによってグループの絆作りができます。互いに打ち解け合えるから、イベントをアピールするのです。

成長を励ますためのアピール

聖研はクリスチャンとノンクリスチャンが成長するためにします。みんなで聖書を読み、祈り合い、交わるのはキリストを深く知り、もっと愛するようになるためです。聖研以外にも成長のためのKGK イベントがあります。

学内を越えた KGK の活動につなげるためのアピール

KGK は学内を中心とした運動ですが、学内を超えるものもあります。他の学内・地区の学生との交わりも成長を励まします。



 以下のKGKブロック・地区イベントは、どのように聖研メンバーの成長を助けると思えますか？

Ex. 関東地区 KGK の場合

地区新歓	ブロック祈祷会	伝道訓練会
夏期学校	チャレンジキャンプ	学内活動セミナー
関東地区総会	2.11 祈祷会	同期会
NET (National Evangelical Training)	春期学校	主事会セミナー



以下の学内のイベントはどのような目的がありますか？

イベント	目的
------	----

新歓

伝道聖研

聖研

祈り会

聖研リーダー訓練

夏合宿

学祭

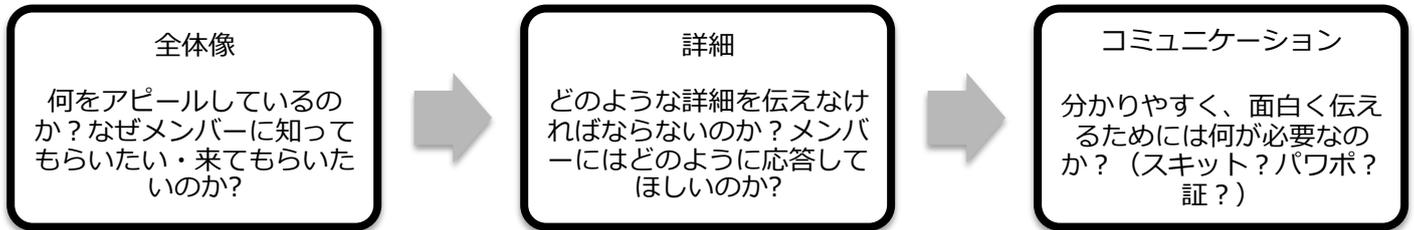
クリスマス会

学内総会

春合宿

どうしたらアピール上手になれるの？

アピールが上手な人はイベントの詳細を踏まえた上でそのイベントを分かりやすく人に伝えることができるのです。



 次の聖研のアピールについて、計画を立ててみましょう。

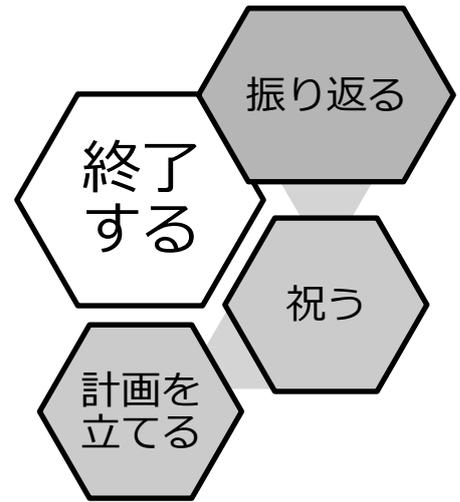


10. 事務：年度末・反省会

良い終わり方

聖研の終わり方は重要です。メンバーが過去を振り返り、感謝し、将来に向けて計画する時です。

良い形で終われば、メンバーはこれまで参加した聖研に対して感謝と喜びを持ち、次の聖研に対して期待を持つでしょう。



どのように終わる？

振り返りのための質問

- 何を学びましたか？
- どのように成長しましたか？何が変わりましたか？
- 何が楽しかったですか？
- 何に励まされましたか？

 聖研の最後の日、メンバーにどういった思いをもってほしいですか？想像して書き出してみましょう。

 どのようにしてメンバーの振り返りを助けることができますか？

 どのように感謝しますか？

 今後もメンバーが聖研に参加するためには、どのように励ませばよいでしょうか？

反省会

定期的にコアメンバーで集まり、普段の聖研の評価を行い、活動内容を改善するためにはどうすればよいか話し合う機会を持つ。リーダーは事前にメンバーに対してアンケートを取り、意見を吸い上げておくと議論がしやすい。アンケートは、総会の際にプリントアウトして配る。

司会の仕方や他の参加者の態度がふさわしかったか、建て上げる言葉で評価する。ブロックなどで他大学の情報をたくさん聞いてみる。もしくは見学。年に1度、定期的に聖研の学び会を行えるとよい。

●アンケートに記す内容例

1.活動について（各項目について、良かった点・改善すべき点など意見・感想を自由に記入）

(1) 聖研（場所、テキスト、司会、お菓子 etc…）

Ex. 観察の問題で沈黙が生じるのは時間がもったいないので、早押し問題にすればよい。

未信者のメンバーが多いので、テキストは●●がいいのではないかな。

(2) 祈り会

Ex. メンバーの予定がバラバラなので、週2回行えないかな。

(3) 新歓

Ex. 看板とチラシが多くの新入生の目に止まったようだ。聖研後の食事の店は要予約。

(4) 特別集会（クリスマス会・伝道集会など）

Ex. プログラムのゲームの時間が長すぎたか。もう少しメッセージの分かち合いの時間が欲しかった。

2.その他、来期の活動に向けて、意見・要望・感想がありましたら記入してください。

Ex. 伝道のための場をもっと設けたい。月1回の伝道聖研の機会を持ちたい。アイスブレイクなど楽しい要素も入れる。



11. 役員特集：チーム作り

なぜ役員会があるのか

モーセとアロン、ヨシユアとカレブ、2人組で送り出された弟子たち…聖書には、多くの場合、複数の人々が共に働いています。神様もお一人で働くことができますし、その方が効率も良いはずなのに、なぜ人々を用いて、しかも共に働くようにされたのでしょうか。

 **エペソ4：1－16**を読みましょう。神様がひとりひとりに賜物を与え、様々な役割を与えたのは何のためでしょうか。

衝突が生じる時

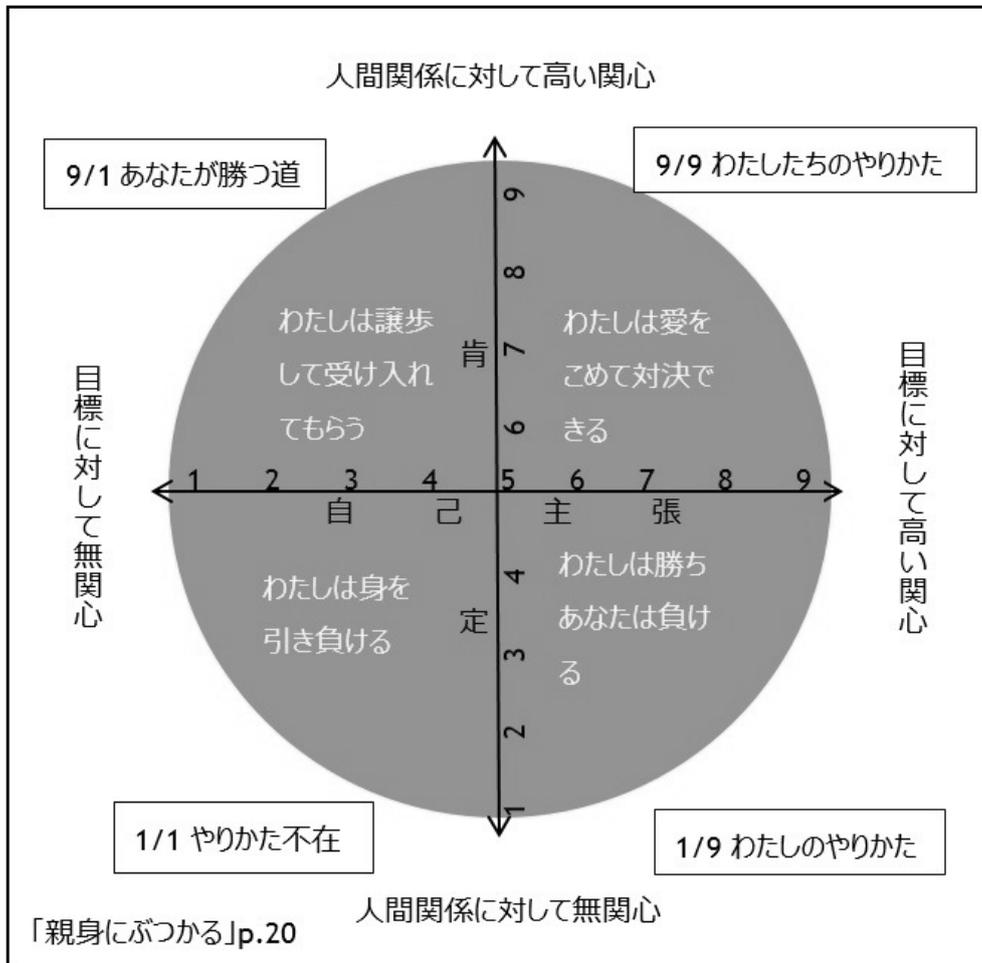
役員会は複数人間が集まっていますから、衝突は避けられません。しかし、いくつかのポイントを知っておくことで、衝突を最小限に収め、成長の機会とすることができます。

コミュニケーションの課題

役員会で衝突が生じるのは、コミュニケーションの取り方に原因がある場合が多くあります。役員会のメンバーは性格や育ってきた環境も異なりますから、コミュニケーションの取り方や受け止め方も異なります。自分を知り、相手を知ることで、コミュニケーションによる衝突を最小限に抑えることができます。

役員会の中で特に大切なのは「ほうれんそう（報・連・相）」です。どんなに小さなことでも報告・連絡・相談をしていくことで、互いに重荷を担い合っていくことができます。このようにしてお互いが助けやすい、そして助けられやすいチームになっていくことが大切です。

そして、積極的にお互いを知るようにしましょう。ミーティングだけでなく、食事などの交わりの機会を持ったり、定期的にリトリートや振り返りの時間を持ったりすることで、ミーティングの場では言うことができなかった思いを分かち合う機会になります。



デビッド・アウグスバーガーは、衝突が生じた時の対決のあり方を人間関係への関心と目標への関心を軸に以下のように視覚化しています。左下の「私は身を引く」の部分は、自己主張もしないし、人間関係を築こうともしません。左上の「私は譲って、受け入れてもらう」の部分は、人間関係を保持する度合いは高いのですが、自分の目標をはっきり主張することがほとんどありません。右下の「わたしは勝ちあなたは負ける」の部分は、自己主

張のみで人間関係を大切にすることがありません。図の中心点は、協調的(あるいは妥協的)な姿勢です。右上の「わたしは愛をこめて対決できる」という部分は、人間関係と目指している目標の両方に高い価値を置く姿勢です。デビッド・アウグスバーガーは、これらの対応それぞれにふさわしい状況や使い方がありますが、もっとも効果的な方法として「愛をこめて対決する」というあり方で、次に「互いに妥協する態度を取る」こと、これでうまくいかない場合に「譲歩して人間関係を保持する」方向、それでもダメなときに初めて「お互いの関係を犠牲にしても目標を達成するために決着をつける」方法を取り、最後の選択は「負けて手を引く」方法を取ることを勧めています。(アウグスバーガー1997、親身にぶつかる)

リーダーシップとフォロワーシップ

役員会に問題が生じるとリーダーの責任が問われますが、リーダー以外のメンバーの責任もまた大きいことを忘れてはなりません。リーダー以外のメンバーが、リーダーを支えていく「フォロワーシップ」を養う必要があります、メンバーのフォロワーシップを引き出すことがリーダーの役割でもあります。KGKでは「サーバントリーダーシップ」を勧めています、メンバーの得意分野や関心のあることを知ってそれらを生かしていくことが、メンバーに仕えていくこと、つまりサーバントリーダーシップです。

・リーダーの役割

役員会の枠組みを作ることで、メンバーは安心して奉仕を担うことができます。役割分担を明確にすることはリーダーにとっても各メンバーにとってもより良い働きをしていく上で大切なことです。そして、各メンバーのために祈りましょう。メンバーを尊敬し、感謝しましょう。

・リーダー以外のメンバーの役割

リーダー任せではなく、ミーティングや聖研、祈り会、イベントなどに主体的に関わりましょう。あなたの言動は役員会全体の成長につながります。互いへの尊敬を持って、互いを建て上げる発言をし、積極的に重荷を担い合いましょう。そして、グループ全体と役員会を導いているリーダーのために祈りましょう。

ミーティングの持ち方

ミーティングの前 - 準備

- なぜ集まるのかをはっきりさせておく。
- 誰が参加しないといけないか決める。資料が必要であれば誰が準備するのかを決める。何かを決めるなら、そのために必要な人がいるようにする。
- 前もってミーティングの時間を知らせる。
- ミーティングの目的をメンバーに伝える。
- 議案書を書く。
- 議案書を前もってメンバーに送り、必要な資料も共有しておく。
- ミーティングはできるだけ短くする。

ミーティングの途中 - ミーティングでの態度

- 必ず時間通りに始める。遅れた人を待ってしまうと、みんな遅れてくるようになる。
- 議事録をとる。出席した人、話し合った議題、決めたことを記録する。
- ミーティングの後にもっと調べたい議題をリストにし、各議題の責任者を決める。
- 時間通りに終わる。

ミーティングの後 - フォローする

- 議事録をできるだけすぐにメンバーに送る。
- それぞれの役割が果たせているかを随時確認する。

議事録には

- 議題
- 話し合い
- 決定事項
- 担当者

ミーティングのポイント

- 祈りと御言葉のときを後回しにしない
- 役員ミーティングを定期的に持つ(次回ミーティングの確認/事務所や会場の予約)
- 議事は能率よく、けじめをつける
- 時間/メールのルールを守る
- 全員の意見を聞くことを心がける
- 楽しもう!!

役員会のためのチェックリスト

- 役員各自が静思の時を持っている
- 役員各自が教会につながっている
- 役員各自が生活管理をできている
- 定期的に役員ミーティングを持っている
- 御言葉と祈りを中心とした役員ミーティングを持っている
- 役員ミーティングは時間通りに終わっている
- お互いのことをよく知っている
- 役員の間的一致がある
- 年間計画が実践されている
- 年間計画(活動)を評価・修正する機会がある

12. 役員特集：年間計画

目的を確認する

活動の目的を定期的(学期ごと、年度ごとなど)に確認することが継続のポイントです。

学生会規約から (Ex. 関東地区 KGK の場合)

第 5 条 本会の目的は次のとおりである。

- (1) 神の言への従順と献身の生活の徹底
- (2) 学友にイエス・キリストの福音を宣べ伝える各学生及び学生団体相互の協力。さらに学生伝道に必要と思われる活動。
- (3) 国内外及び海外宣教のために祈る
- (4) 以上の目的のために相互援助する。

聖書から:

 コロサイ 1:28-29 エペソ 4:11-13 にはどういった目的が現れていますか。

現状を知る

グループとしての現状

 今の活動の状況について考えてみましょう。

活動	目的	評価・来学期変えたいこと
● 曜日聖研		
△ 曜日聖研		
DPM		
新歓		
合宿		
クリスマス会		

メンバーの現状

 以下のカテゴリーに当てはまるメンバーの名前を書き出してみましょう。

神様を知らない	成長しているクリスチャン
新しいクリスチャン	仕えているリーダー

計画を立てる

 はじめに確認した各目的を果たすための活動を考えてみましょう。

目的 # 1 ()
目的 # 2 ()
目的 # 3 ()

目的が扱う範囲は大きすぎる場合が多いので、その目的からもっと小さな目的を考えることが次のステップです。

Ex. 「学友にイエス・キリストの福音を宣べ伝える各学生及び学生団体相互の協力。さらに学生伝道に必要と思われる活動」（規約）を実行するための計画のプロセス

SMART な目的

Specific = 具体的、わかりやすい

Ex. ブロック祈禱会でノンクリスチャンの友達のために祈ることを励ましたい

Measurable = 計測可能、数字になっている

Ex: 祈りの時間のはじめに、ノンクリスチャンの友達のために祈る時間を持つ

Attainable = 達成可能な

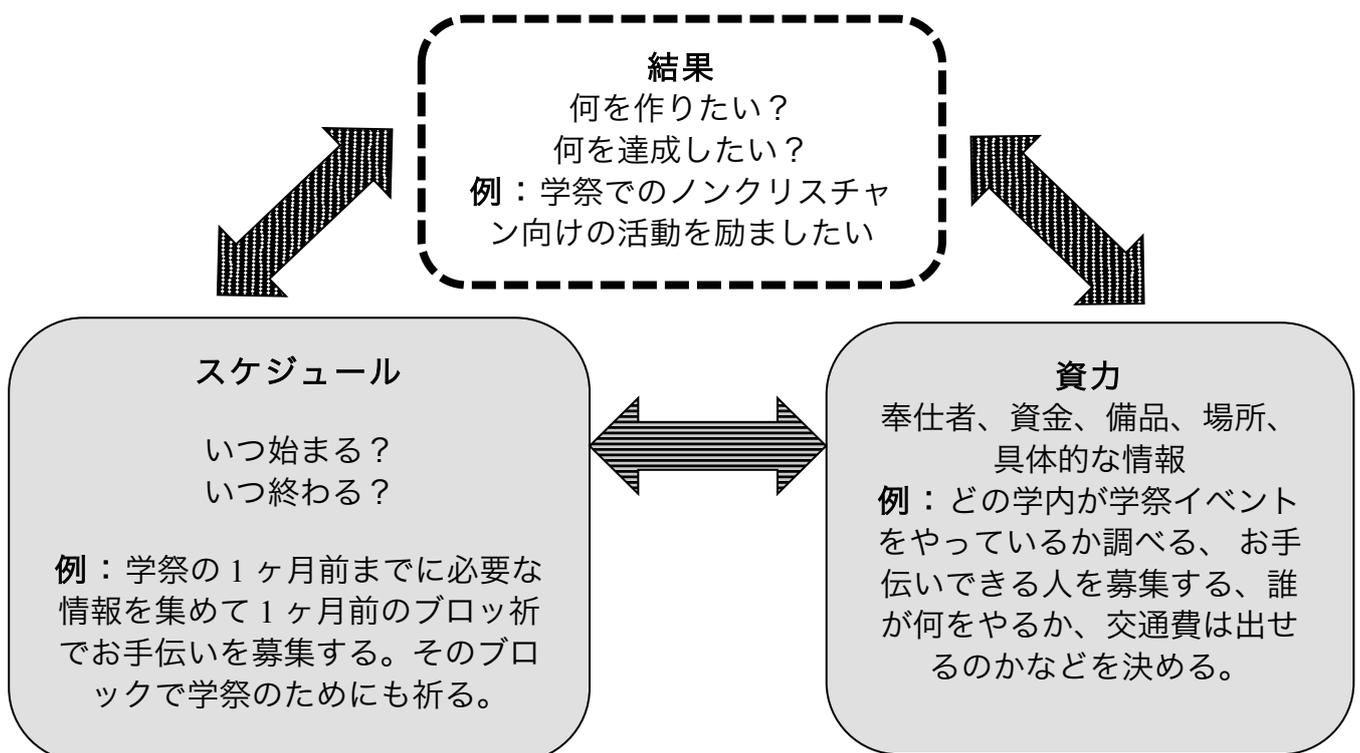
Ex. 「毎日ノンクリスチャンのために祈る」ではなく、まずはもっと達成しやすい「ブロック祈禱会でノンクリスチャンの友達のために祈る」

Realistic = 現実的で結果志向

Ex. 祈りの時間の初めに、グループリーダーにノンクリスチャンを覚えて祈る時間を 5 分持つてもらう

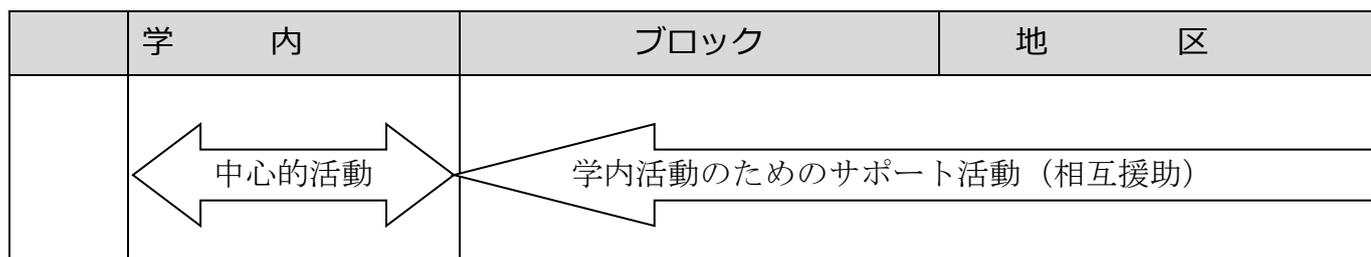
Timely = 期限が明確、今日やるなど

Ex. 次回のブロック祈禱会から実行したいので、来週までにグループリーダーに電話してこのアイデアを説明する計画に必要な話し合い



ブロック&地区活動と連動した学内活動の吟味と計画

Ex. 関東地区の例



4月	新歓	新歓	
5月	祈り会・聖研 ↓	ブロック祈祷会 (テーマ：)	地区新歓 学内活動セミナー I
6月	(伝道会)	ブロック祈祷会(世宣月間)	
7月		ブロック祈祷会	
8月	夏合宿		夏期学校
9月		ブロック合宿	ブロック役員合宿
10月	祈り会・聖研 ↓	ブロック祈祷会	学内活動セミナー II
11月	(大学祭) 引き継ぎ	ブロック祈祷会 (伝道月間)	世界宣教合宿
12月	クリスマス会	クリスマス会 or ブロック祈祷会	地区総会
1月		会	
2月	卒業生追い出し	ブロック祈祷会 (テーマ：)	地区総会
3月		引継ぎ	

サークル化の長所と短所

ある程度の人数が集まって活動が続いてきたら、サークル化を考えてみましょう。学校によって公認サークル、非公認サークルなどの形態があったり、国公立大や私立大、ミッションスクールなどによっても方針が異なる場合があったりするので、在学している学校の方針を理解した上でサークル化が良いかどうかを吟味する必要があります。

サークル化の長所

- ・ポスターを掲示できたり、チラシを配布したりすることができる(非公認サークルでもできる場合があります)
- ・信頼性が増す
- ・活動の継続の助けとなる
- ・援助金が出る場合がある
- ・部室を持つことができる

サークル化の短所

- ・サークルの会議などに出席する義務が生じる場合がある
- ・名簿や活動実績を提出する義務が生じる場合がある
- ・学校の方針によって KGK との関わりを持ちにくくなる場合がある

サークル化のためのステップ

学校の中でサークル申請を担当している部署に行って、申請には何が必要かを確認しましょう。学校によっては顧問の先生をお願いする必要がある学校もあれば、顧問の先生は必須ではない学校もあります。また、規約が必要な学校もあれば、必要のない学校もあります。学校に確認しましょう。

顧問の依頼

顧問の先生をお願いする必要がある場合、顧問の先生の役割を確認しましょう。顧問の先生が活動に関わる場合、クリスチャンの先生であることと、KGK スピリットに賛同してくださる先生であることが大切です。

規約の作成

規約を持っていることが求められる学校の場合、KGK の規約(全国規約や地区規約、他の学内の規約)を参考にしながら規約を作成します。過去にサークルとして活動していた場合、過去の資料に規約が残っているかもしれません。

サークル申請が行き詰まった時

学校によっては宗教活動が禁止されているために KGK の学内グループとしてサークル化が認められない場合があります。しかし、それはあなたが初めてのケースではありません。以前にも同じ壁にぶつかった先輩たちがいます。また、そのようなときはサークル化を吟味しなおすチャンスかもしれません。主事や先輩に相談しながら話し合ってください。

持続可能な活動のために

公認サークルとして申請をした世代の学生が卒業しても継続していくことができるために、資料をまとめることが大切です。資料の中には

- ・サークル申請用紙のコピー
- ・規約
- ・その他学校によって必要なもの、後輩に継承していきたいもの

を入れてファイルにまとめたものを引き継いでいきましょう。リーダーに引き継いでいくのが良いですが、部室がある場合は、部室に保管しましょう。

参考文献

アウグスバーガー、デビッド 1997. 親身にぶつかる. 平野ふみ子、平野英里訳. すぐ書房.

Graeme Goldsworthy 2001. *The Goldworthy Trilogy: (Gospel and Kingdom, Gospel and Wisdom, The Gospel in Revelation)*. Paternoster, Crownhill.

KGK. 2010. 学生の伝道.

KGK. 1998. リーダーシップの手引き

Marshall, Colin 1995. *Growth Groups*. Matthias Media, Sydney.

Morris, Rod and Karen 1997. *Leading Better Bible Studies*. Aquila Press, Sydney.

Register, Dean 2014. "John Henry Jowett: A Passion for Preaching."

<http://www.preaching.com/resources/past-masters/11628034/>

はじめよう、聖研リーダー (PART 1)

発行日

2014年1月9日

発行

キリスト者学生会 102-62 東京都千代田区神田駿河台 2-1 OCCビル3階

電話 03-3294-6916

FAX 03-3294-6050

Email: office@kgkjapan.net

編集

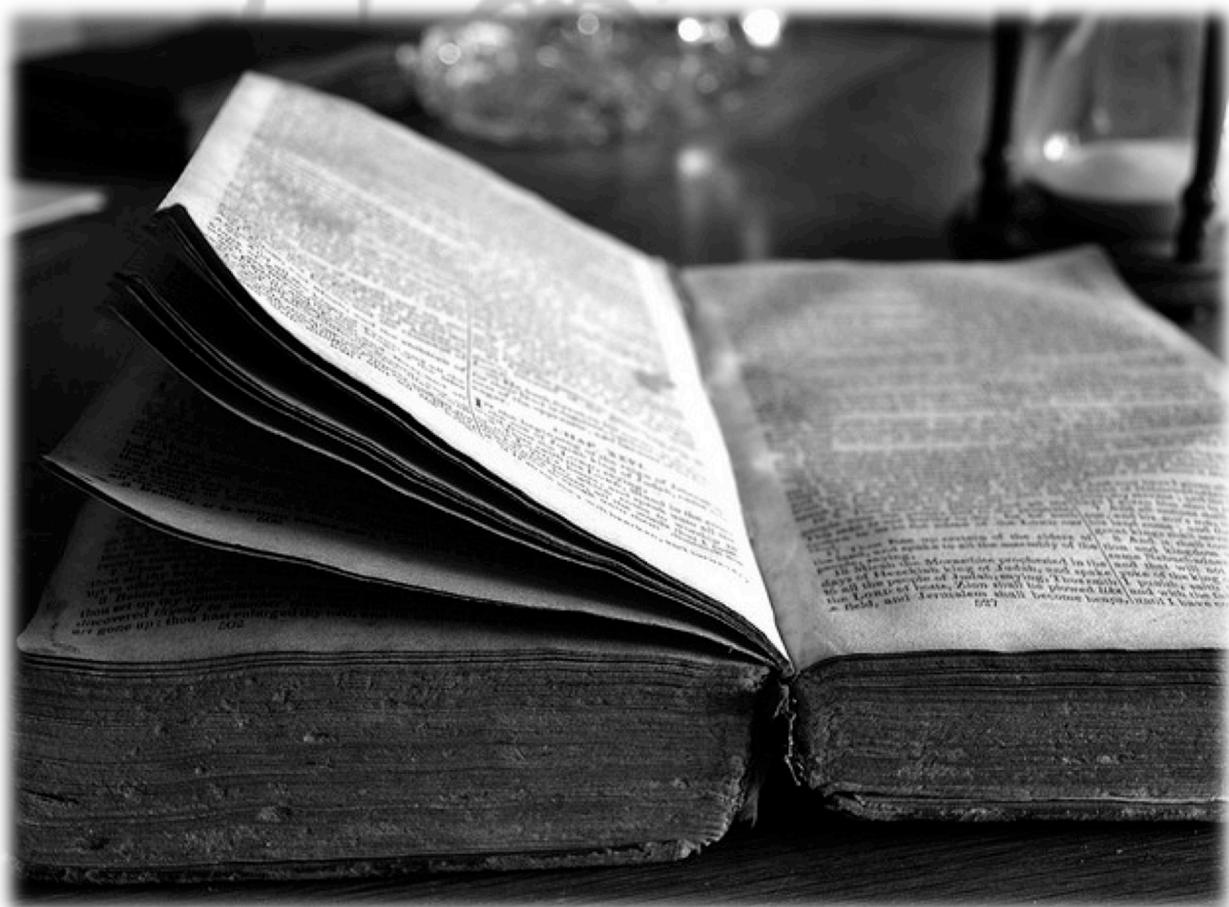
浅田美由紀、スミス・ナオミ、中西健彦、野村天路、ラベット・ステイシー

© EU Graduates Fund、シドニー

本ブックレットはシドニー大学 Evangelical Union (Australian Fellowship of Evangelical Students の関連グループ) のブックレットを参考にしています。EU Graduates Fund、シドニーの許可を得て発行しています。再発行・配布・転送はご遠慮下さい。問い合わせは KGK までお願いします。

はじめよう 聖研リーダー

Part 2



この手引きの使い方

目次

前期

1. PHAT になろう
2. 事務：聖研の初回
3. 教える：聖研の第一歩
4. 宣教：歓迎する聖研
5. 牧会：グループのケア
6. 教える：良い質問
7. 教える：議論
8. 牧会：祈り
9. 事務：広報&アピール
10. 事務：年度末・反省会
11. 役員特集：チーム作り
12. 役員特集：年間計画
13. 役員特集：サークル化

後期

14. 牧会：愛と想像力
15. 牧会：リスニング&個人ケア
16. 教える：聖書は宝
17. 教える：観察①
18. 教える：観察②
19. 教える：解釈①
20. 事務：引継ぎ
21. 教える：解釈②
22. 教える：適応①
23. 教える：適応②
24. 付録：ジャンルについて

誰のためのブックレット？

- 聖研リーダー
- これから聖研リーダーになる人
- 学内役員

ブックレットの内容

- 1回 30分の内容
- 全体で 20回分の学び
- 一度に二つのテーマを学んでも良い

どうやって使うの？

- 一人で熟読
- 学内の役員会で読書会
- 後継者と一対一で読む
- 主事と一緒に読む

使い方の例

- 聖研リーダーコース：全部
- 時間がない人のためのコース：
2,3,4,6,10
- 役員会コース：
1,2,11,4,5,8,9,12,13

ひとりひとりのために夢をもつ

(オーストラリア K GK 主事、カロリン・アンドリュースによるエッセイ)

良い牧師になるためには何が必要なのでしょう？ 魅力的な性格？ 心に響く鋭い説教？ いつも元気であること？ 人間関係が上手にできること？ リーダーシップがとれること？ 神様によると良い牧師になるために一番必要なのは愛です。

パウロは第1コリント13章でこう（いう感じで）語っています：

たとい、私が●●師のような異言で話しても、愛がないなら、やかましいどらや、うるさいシンバルと同じです。目をつむりながら聖研リードができて、毎月ブロック集会に参加しても、神学的な知識を山ほど持っていて、祈禱会で熱心に祈ることができて、愛がないなら、何の値打ちもありません。愛が私たちの全ての行いの中心にならなければなりません。私たちが周りの人をキリストにある成長へと導く時にあたって、愛が私たちの動機であり、全ての人間関係の土台、全ての決断の根拠にならないといけません。最も、愛が私たちの存在自身の中心とならなければならないのです。私たちは寛容で、親切で、人を妬まない、自慢しない、高慢にならない、礼儀に反することをしない、自分の利益を求めない、怒らない、人のした悪を思わない、不正を喜ばない、真理を喜ぶ、そのような人にならないといけません。

第一コリントは愛について強く語っています。夫妻間の愛ではなく、クリスチャンの交わりにおける愛について語っています。もっと良いリーダーや牧師になろうと思っているならば、この箇所を心に刻んでおくべきです。

人生を「物語」として考える

ある作者は、人生を「物語」として考えることを勧めます。ひとりひとりの人生には始まり、真ん中、終わりがあり、それぞれの「物語」は神様の御手の中にあるものだと言っています。また、ある神学者によると、「神様について語るには『物語』しかないのです。」その神学者が言うには、私たちは神様の「物語」の中に自分を位置づけることによって自分を見出せるのです。人を「物語」という概念の中で理解することは、人が歴史の中に存在し、時間が過ぎる中で変わっていくことを意識するということです。このような視点から見ると、人は停滞した状態にとどまるのではなく、

いつも前に、未来に進んで行くのです。「物語」という視点から一人の人生を見ることは、それぞれの人生における「可能性」が「実現」に至るまでの流れを意識することです。クリスチャンにとって、人生の最後にはキリストの再臨があり、その時にひとりひとりが神様をはっきり見ると約束されているのです。

想像力とは. . .

想像力とは、今見えない未来を見出す能力です。先のことを想像するのは不可能に思えるかもしれませんが、愛があれば可能です。私たちは人の話を聞きながら、その人のために仕えながら、その人と信頼関係を結びながら、その人の未来を見出すことができるのです。

想像力 = 希望

想像力があるとは、相手に希望を持つことです。人がよい者に変われるという希望なのです。パウロも愛と希望を繋げています。パウロによると、愛は「すべてをがまんし、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを耐え忍びます」（1コリント 13：7）。人がそれぞれの「物語」の中で前に進み、成長し、上達し、強くなっているなら、私たちはその人の変化を期待することができます。クリスチャンは常にもっと良い未来に向かって生きています。もっと人を愛せるように、もっと寛容になれるように、もっと親切になれるように、もっと過去の間違いを赦せるようになる日を願いながら生きているのです。それは、聖霊の力によって日々変えられて行くことを期待しているからです。

自分に対して希望を持つことは簡単です。もっと忍耐強い、誠実な、愛に溢れている自分は簡単に想像することができます。もっと家族を愛している未来、母親に対して寛容になっている未来、父親や兄弟に簡単に腹を立てない未来、自分の未来を思い描くのは簡単ですが、他人の未来を楽観的にみるのは難しいです。どちらかというとも他人に関しては、停滞しているようにしか思えない時が多いのです。ずっと意地を張っている他人、ずっと聖研に來ない他人、ずっとふわふわしている他人。5年後の他人の未来を想像するよりかは、1年後の他人を思い描くのに精一杯です。想像力が足りないのです。いや、愛が足りないのではないのでしょうか。神様が成長を約束して下さっているのにも関わらず、なかなか他人に関して夢を持たないのです。

ここまで他人に対して夢を持つことの重要性を強調してきましたが、同時に気をつけなければならないことがあります。他人に対して支配的になってしまったり、自己満足のために他人の成長を利用することもあります。また愛のつもりが、いつの間にかその人を支配する行為になることもあります。子供に一切決断の権利を与えない親、何に関しても自分が正しいと考えるメンター、主体的

な生き方をさせずに会衆の人生を操る牧師、こうした「愛」は偽りなのです。想像力は、他人の上に立って、その人を巧みに扱うことではありません。その人にとって何が一番良いのか、神様がその人のために何を求めているのか考えながら、その人の成長を期待することなのです。愛は決して盲目ではなく、常に忍耐して希望を持っているのです。

隣人愛

隣人を愛することはどのようなことでしょうか？ それはよきサマリア人の譬えに出てくるような愛です。その譬えでは、サマリア人は人種的、階級的、宗教的な障壁を乗り越えユダヤ人に仕えます（ルカ 10:25-37）。隣人愛というのは人がもっと良くなるだろうと期待する愛のことです。たとえ隣人のことを深く知らなくても、想像力を持ってその人のために夢を持つのです。カルヴァンも言います。どれほど自分と違う状況に生きている人でも、どれほど苦しんでいる人でも、同じ人間であるということは、私たちがその人を通して、ある意味自分を見ていることになるのです。同じ人間なので、その人のために新たな生き方を想像することができるのです。そして、隣人愛は常に人に対して希望を持つことができるのです。なぜなら人間の力ではなく、神様の力に頼っているからです。

私たちはこのことを意識しながら隣人とともに生活するのです。常によい方向へと導こうと、互いに励まし合い、注意し合い、重荷を負い合うのです。全ての人、友達も他人も、が神様の前で正しく人生を過ごすことを願っているのです。私たちが他の人を愛することは、他の人に関して豊かな想像力を持つということです。神様と同じ目でその人を見ることです。ひとりひとりを尊く、特別な存在として見るのです。いつも他の人に対して希望を抱き、忍耐を持って接することです。私たちはこのようにして隣人愛を表すのですが、それは同時に神様の愛を証することになります。なぜなら神様は、いつも私たちに恵み深く忍耐を持って接して下さり、私たちのために希望を持って下さるからです。

 **愛と想像力の関係について何を学びましたか。**

成長への道

聖研のリーダーとして、私たちはメンバーひとりひとりがキリストを深く知り、キリストをさらに愛するように成長することを願っています。そのためには御言葉を読み、祈り合い、交わりを通して分かち合います。しかし、「成長」を考える時に私たちは白か黒かの二者択一的な考え方になることがあります。「成長している」「成長していない」といった2パターンしか想像しなくなることがあります。実は「成長」とはもっと段階的なものです。

聞き上手になること

聖研リーダーとして必要な能力の一つはリスニングです。グループの中でメンバーと交わる時、また個人的にメンバーと会うとき、リスニングはとても大切です。緊張して忘れることもあるので、心がけましょう。



L ean Forward 前かがみになる

聞いているときに、話している人の方に前かがみになると、聞きやすくなります。グループで交わる時、この姿勢が特に重要です。また、話している人の意見をしっかり聞いていることを周りのメンバーにも分かりやすく示す姿勢です。

O pen Posture 開けた姿勢

足や手を組んで座ったり、自分の前に何かを置いたりして壁を作らないようにしましょう。

S quare On 顔を向ける

できる限り、顔を向けるのが一番いいですが、もし隣に座っている人と話すならば、他の方法で聞いていることをアピールします。

E ye Contact 目を合わせる

一番良いのは、相手の目を見ること。話し手は時々視線を外すのが普通です。相手の目を見ると緊張するという人は目と目の間、鼻の少し上あたりを見ると良いです。

R elaxed 落ち着いて

他の人に注目して、落ち着いて聞いていると、話し手も落ち着いて話せます。

個人ケア

 ヘブル 10:24-25 によると、私たちは会うときに何をすればいいのですか。ここで言われていることをどこかで経験したことがありますか。

なぜ個人ケアをするの？

- 個人的なキリストにある成長を願っているから。
- 個人的に会う方がグループで話すより励ましになる場合があるから。互いのイエス・キリストとの関係を確認し、キリスト者として生き、成長することを励ますことができる。
- 聖研に来られなかった人のフォローができる。また聖研で学んだことについて疑問を持っている人と深く話し合うことができる。

個人ケアをするには何が必要なの？

 <p>心- メンバーを心から愛し、そのメンバーが父なる神様と更に親しくなることを願う。</p>	 <p>手- 努力と忍耐。信頼関係を築くには時間がかかります。</p>
---	--

実際に何をしたらいいの？

個人ケアはリーダーが主体的に行うもので、メンバーの個人的な成長を励ますものです。コーヒーを飲みながらでも良いし、サッカーをしながらでも良いし、聖研後の帰り道でもよいです。個人ケアというのは主体的に行うもの（つまり計画をもってするもの）であり、成長を励ますためのものです（つまり雑談のみではない！）。

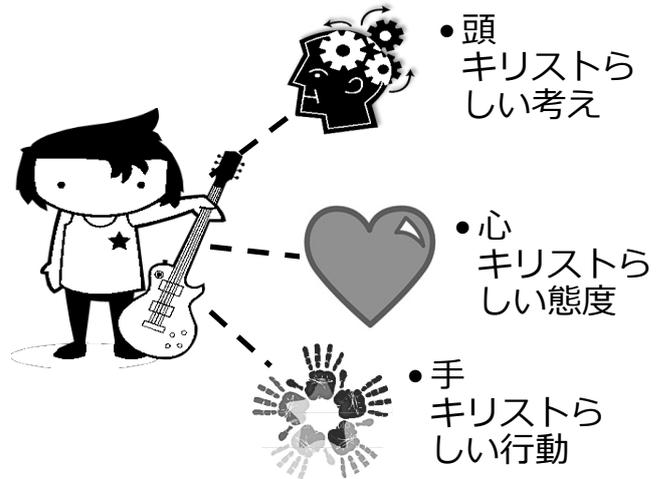
- 各学期、メンバーひとりひとりが最低一回、リーダーの誰かと個人ケアを持つ。
- 個人ケアは30分～1時間で十分です。
- 会う前に個人的に聞きたい質問を考えておこう。そのために祈ろう。
- 一緒に会うときは楽しく！一緒に祈ることを忘れないように。
- メンバーと個人的に会って遊ぶのは誰でもできますが、個人ケアにはもう少し準備が必要になります。なぜなら、成長を助ける目的があるからです。

模範になる

分かち合いの模範になりましょう。現在、自分が靈的にどのような状態なのかを話すことによって、メンバーの模範になりましょう。キリスト者としての生活について素直に語りましょう。最近読んでいる本、神様から何を教えられていること、学内の人間関係、試練とどのように向き合っているか、何に対して熱意を持っているのか、どのような奉仕をしているのか、自由に話しましょう。

聞く

メンバーを個人的に知るのが一つの目的なので、丁寧に聞く姿勢が大事です。話されたことを一度受け止めてから話す。聞いていることを相手に伝える。理解できたことを相手に伝える。自分の言葉で相手の言ったことをまとめて言い返す。明確に理解するために質問をする。



 個人ケアではどういう質問をする？ 他にはどんな質問がありますか。

- 靈的な生活
- 家族と人間関係
- 教会との関わりと奉仕
- 現在の試練や戦い
- 趣味や好きなこと
- 将来の計画

思いやりを持って質問する

相手を励ますために、他の人だとあまり聞かない質問をすることも大切です。人間全体の成長を求めているので、頭・心・手に関する質問をすると良いです。

祈る

個人ケアの終わりには必ず祈りの時を持ちましょう。なぜなら、成長をもたらすのは最終的には神様だからです。個人的に会った後にはメモを書き記しておく、次に会う時に励ましやすくなります。祈りのためにも役に立ちます。

 今学期は誰と個人ケアをしますか？いつ？どうやって？具体的な計画を立てましょう。

当たり前になっている聖書

 「何故、あなたは聖書を勉強するの？」と聞かれたら何と答えますか？

クリスチャンにとって、聖書は大切なものです。集まる時には共に聖書を学ぶ習慣があります。私たちは聖書を読むことで励まされ、助けられ、刺激を受けることを期待します。しかし、時に聖書の学びでは落ち着けなかつたり、混乱したり、退屈に感じたりすることもあります。ただ、何となく聖書を勉強するのが大切だと感じています。聖研のリードをするにしても、いつの間にか、なぜ聖書を勉強しているのか忘れてしまうこともあります。聖書がどれほど素晴らしいか忘れてしまっているのです。

素晴らしい聖書

神様—知られたい：キリスト教の根本的な教えの一つは、私たちが真の生ける神様を知ることができるということです。それだけでなく、世界を創造された神様の方こそ、被造物に知られたいと願っておられるのです。初めからそうでした。天地創造の時から、聖書の神様は被造物と共に歩み、彼らに語りかけ、「主だけが神であって、ほかには神はないことを」示されてきました（申命記 4:35）。

人間—暗い心、暗い思い：しかし、神様を知り、神様と交わる機会が与えられていた人間は神様を拒絶してしまいました。代わりに、自分たちで考え出した神を拝んだり、完全に神様の存在を否定したのです。ローマ人への手紙には以下のように書かれています：「それゆえ、彼らは神を知っていながら、その神を神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その無知な心は暗くなりました。」（ローマ 1:21）心も思いも暗くなってしまった私たちは神様を知ろうともせず、むしろ自分の意志と能力だけでは神様を知ることができなくなってしまったのです。罪によって、神様に関する知識が曖昧になってしまい、これと同時に私たち自身に関する知識、そして私たちの周りの世界に関する知識も曖昧になってしまったのです。

神の御業—暗闇から光へ：しかし、聖書の良い知らせによると、私たちはいつまでも神様を知らないまま、暗闇の中に閉じ込められた状態にはされませんでした。創造主が再び「光が、やみの中から輝き出よ」と語りかけて下さり、「私たちの心を照らし、キリストの御顔にある神の栄光を知る知識を輝かせてくださったのです。」(2 コリント 4:6) イスラエルに、言葉と行いを通して姿を現した生きておられる真の神様が私たちにも姿を現してください。御言葉を通して、またキリストの生涯を通して、ご自分の性質とみこころを教えてください。イエス・キリストも言っています：「あなたがたは、もしわたしを知っていたなら、父をも知っていたはずですが。しかし、今や、あなたがたは父を知っており、また、すでに父を見たのです。」(ヨハネ 14:7)

御言葉と、言葉であるキリストを通して私たちは神様を知り、新しくされるのです。

聖書を通して…

神様の性質と人格を知り、神様との交わりを持つようになる：「正しい父よ。この世はあなたを知りません。しかし、わたしはあなたを知っています。また、この人々は、あなたがわたしを遣わされたことを知りました。」ヨハネ 17:25

生まれ変わる：「あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種からであり、生ける、いつまでも変わることはない、神のことばによるのです。」(1 ペテロ 1:23)

神様が御国を治め、私たちの信仰と従順を促す：「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。」(2 テモテ 3:16-17)

神様を知り、新たにされ、従うことによって私たちは初めて自分自身を知り、自分の目的も見出すことができるのです。カルヴァンもこう言っています：

「人間についての知識を得たいのなら、まず神様の御顔を見上げよ。神様について熟考してから自分を吟味するといいい。」

神のことば—宝物

聖書を読んで学ぶことは、単なる暇つぶしではありません。聖書を読むことで、私たちは世界の創造主なる神様を知ることができるのです。聖霊がみことばを私たちの心、思考、

生活の中で生かして下さいなのです。そして神様は、御言葉によって私たちをキリストの姿に変えて下さるのです。聖研リーダーとしての能力を上げ、聖書に関する知識を深めることは素晴らしいことです。しかし、聖研リーダーにとって最も大切なのは、スピーディーに聖書箇所を理解することではなく、素晴らしい適応を考えることでもありません。大切なのは、自分がみことばを心の宝とし、その御言葉によって人生が変えられることをまず個人的に味わうことです。リーダーである自分がまず御言葉に変えられ、神様を知ってはじめて、他のメンバーに神様を知ること・愛することを教えられるのです。

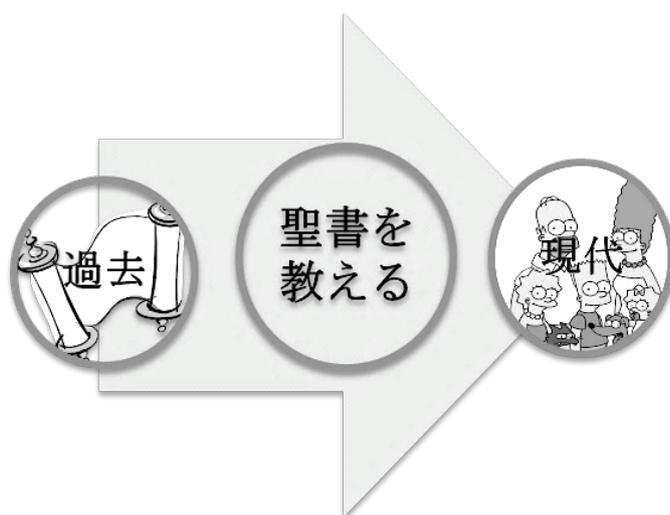
 **聖書を宝にするためには自分の生活で何ができますか。**

聖書を教える

「書いてある通りにすればいい」の限界

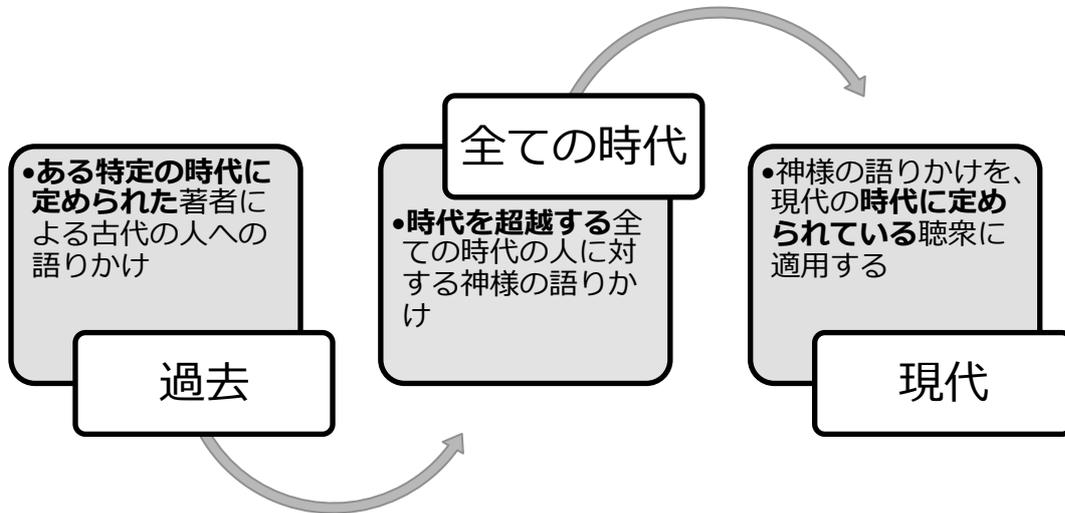
完全に間違いではありませんが、聖書を教えることは「聖書の言葉通りに生きればいい」と単純に人に教えることだけではありません。なぜなら、聖書というものは特定の時と場所に書かれ、特定の人に向けて書かれたものだからです。聖書は古代のものであり、私たちとは全く違う状況で暮らしていた古代の人に書かれた書物なのです。

だからといって、聖書の内容が私たちと関係ないわけではありません。特定の時代の著者の語りかけの中には、全ての時代の人に対する神様の語りかけも含まれています。2テモテにはこう書かれています：「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。」(2テモテ 3:16-17) 私たちと無関係な聖書箇所はないのです。問題は、この古代の書物をいかに現代の聴衆に教えるかなのです。



橋渡し—過去から現代へ

現代の聴衆に聖書を教えるためには、過去と現代をつなぐ橋が必要です。まず、著者の元々の語りかけを理解します。次に、そこから全ての時代の全ての人への神様の語りかけを見出します。最後に、その語りかけを現代の人に適用させるのです。



過去と現在を繋げる橋はどのように造れるのでしょうか。必要なのは、以下の聖書解釈3ステップです。



- 釈義のステップでは、その箇所時代の背景を理解し、古代の著者が古代の聴衆に何を伝えようとしていたのかを考えます。箇所の特殊な時代背景を意識しながら、じっくり読みます。

- 課題: 「過去の著者は過去の聴衆へ何を伝えようとしていたか？」
- 結果: 釈義的な本旨

- 解釈のステップでは、その箇所における超越的な神様の語りかけを考えます。

- 課題: 「神様は全ての人へ何を伝えようとしているか？」
- 結果: 超越的な本旨

- 適用のステップでは、神様の超越的な真実がどのように生活に当てはめられるかを考えます。一般的な神様の語りかけを、具体的な適用として表現します。

- 課題: 「神様の語りかけを聞いて、現代の聴衆にどう変わってほしいか？」
- 結果: 適用

十字架が中心

この3ステップを踏む際、「キリストの十字架」を中心とすることが大切です。聖書箇所を理解するために必要な視点であり、聴衆がキリストのようになるという適用にも繋がります。



17. 教える：釈義①

釈義- 段階の説明

釈義とは古代の文章を丁寧に読み返し、過去の著者が過去の聴衆に何を伝えようとしていたのかについて考える段階です。

課題: 「過去の著者は過去の聴衆に何を伝えようとしていたのか?」

結果: 文章の本旨



望遠鏡 (マクロ) 文脈を意識して読む:

背景を知る

- ツール 1.1-ジャンル: どの種類の文章
- ツール 1.2- 歴史背景: どの時代のものか

顕微鏡 (ミクロ)

丁寧に読む:

文章の細かいところを理解する

- ツール 1.3- 構想理解: 分析をする
- ツール 1.4- 語意理解: 言葉の意味を調べる



釈義 ツール 1.1 | ジャンル: どのような種類の文章か

丁寧に文章を読み始める前には、まずどのような種類の文章かを意識しなければなりません。難しく感じるかもしれませんが、私たちは日常的にも文章の種類に応じた読み方をしています。例えば、バスの時刻表とラブレターの読み方は違うのは当然です。また、数学の教科書を読んで、新宿への順路を調べようとはしません。文章のジャンルによって、読み方・理解の仕方が異なるのです。

 聖書にはどのようなジャンルがありますか。聖書のジャンルを書き出してみましよう。付録に聖書のジャンルと読み方の説明があるので、参考にして下さい。

なぜジャンルを識別することが大切なのか

文学ジャンルを知ること、聖書箇所に対してどのような問いかけをすればよいか分かります。それが分かると、聖書箇所をさらに深く理解することができます。聖書を読む際、必ずジャンルを意識して読む必要があります。終末論的な文章を、手紙や歴史的物語と同じように読もうとしても、意味を理解することはできません。それぞれにふさわしい読み方があるからです。また、ジャンルが分かれば、文章の比喩的な部分などを見分けることができます。

釈義 ツール 1.2 | 歴史的背景

文脈を意識して聖書箇所を読むためには、その箇所の歴史背景を知ることが大切です。文章が書かれた時代の人・場所・状況・出来事を知ることによってその箇所の理解が深まります。聖書箇所の歴史背景を知る一番の手がかりとなるのは、歴史的な文書である聖書です。それに加えて、他の資料（聖書辞典など）も助けになります。



聖書のタイムライン

聖書に描かれている歴史を知ることが大切です。聖書のタイムラインを頭に入れておくと、聖書箇所に登場する人物の過去と将来が分かるので、その人のその時の状況も想像しやすくなります。歴史的背景を調べるには以下の質問をします：

- 古代の著者／聴衆の置かれていた状況はどのようなものですか。
- どのような人、場所、出来事が登場しますか。
- この箇所は聖書のタイムラインの中のどの位置にありますか。
- 歴史状況を知ることによって聖書箇所の理解はどのように変わりますか。また、聖書箇所の内容を知ることによって、歴史状況についての理解はどのように変わりますか。

幼い時から聖書を読んできた人は、聖書に書かれた歴史をよく知っていると思います。しかし、アブラハムやイエス・キリストの話はよく知っていても、創世記からマタイの間の2000年間に、曖昧な知識しか持っていないことはないでしょうか。この歴史を知っているかどうかで聖書の読み方も変わってくるので、聖書の歴史は知っておきたいものです！

 **図を見ないで 聖書のタイムラインを書き出してみよう。どこが欠けていましたか。**

聖書タイムライン

旧約の時代開始

創造

アダムとエバ
 アブラハム (c.2000-1900 BC)
 イサク (c.1900-1800 BC)
 ヤコブ (c.1900-1700 BC)
 モーセ (c.1527-1407 BC)
 ヨシユア
 サウロ (在位 1050-1010)
 ダビデ (在位 1010-970)
 ソロモン (在位 970-930)
 レハバム (在位 930-913)

堕落
 大洪水
 バベル
 エジプトで奴隷
 出エジプト (c.1447 BC)
 律法
 約束の地
 士師 (c.1380-1050 BC)
 神殿 (c.960 BC)
 ヤロブアム (在位 930-909)

南の王国: ユダ

北の王国: イスラエル

王国分裂
 (930)

イザヤ(740-□681)
 ミカ(750-□686)
 エレミヤ(626-□585)
 オバデヤ(605-□585)
 エリヤ (875-848)
 エリシャ (848-797)
 ヨナ (785-775)
 ホセア (750-715)

バビロン捕囚
 (597-432)

捕囚(605,586)
 エゼキエル(593-□571)
 ダニエル(605-□530)
 帰還I-ゼルバベル(538)
 帰還II-エズラ(458)
 帰還III-ネヘミヤ(432)

エルサレム陥落 (586)
 ゼカリヤ (520-480)
 マラキ (440-430)

アッシリア
 捕囚(722)

旧約の時代終

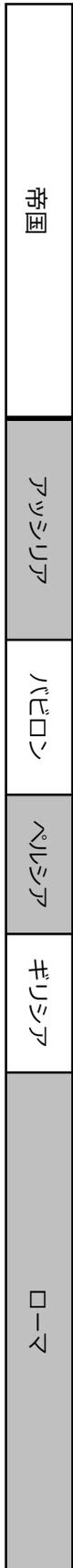
中間時代(432-5BC)

新約の時代開始

イエス誕生 (6/5BC) バプテスマのヨハネ
 イエスの伝道開始 (30AD)
 イエスの死
 復活 + 昇天 (33AD)
 パウロの回心 (35 AD)
 パウロの伝道旅行
 (46-48, 50-52, 53-57AD)
 パウロの投獄と死刑(66-67 AD)

ペンテコステ (33 AD)
 ヤコブの殉教+ ペテロの投獄 (44 AD)
 エルサレム会議 (49-50 AD)
 使徒ヨハネパトモスに島流しにされる (c. 90-95 AD)

新約聖書の時代終了



釈義 ツール 1.3 | 構想理解

聖書箇所の意味を理解するためにはジャンルと歴史的背景のような大幅な文脈を見る必要もありますが、同時にその箇所自体を詳しく探る必要もあります。



構想とは何か？

構想とは著者の文章の組み立て方です。組み立て方によって、文章の意味が変わってくるので、構想に注目しながら読むことは大切です。

構想を分析する

構想を分析するためにはまず、文章の流れを分かりやすく書き出します。

ゆっくりと文章を書き出すことによって、最初には見逃した内容もはっきりと現れてきます。また、その箇所に重要な概念も発見しやすくなります。

構想の書き出し方

1. 文章の本旨を最初に書く
 - ↳ 2. その本旨を説明する言葉／フレーズを下にインデントをして書く
- 新しい言葉／フレーズごとに段落を増やす

構想を分析するときに役に立つ質問：

- 原因・結果の関係は何ですか（そういうわけで～、そうですから～、__。何故なら、__。というのは）
- 対照、反対表現はありますか（しかし）
- 繰り返し並列される思想・同じ単語・概念・句はありますか（レビ記：「きよい」）
- 5 W1H（When いつ、Where どこで、Why なぜ、Who 誰が、What 何を、How どのように）
- 物語の場合、あらすじは何ですか。

 **ピリピ 4：4-7の構成を書き出してみましよう。（最初は書いてあります）。**

いつも主にあって喜びなさい。

もう一度言います。喜びなさい。

あなたがたの寛容な心を、すべての人に知らせなさい。

主は近いのです。

釈義ツール 1.4 – 語意理解

構想と同時に、一つ一つの語意（言葉の意味）を知ることも大切です。言葉とフレーズだけを読まないように。文脈を意識して意味を見出そう。



文脈の中の語意

言葉はフレーズの中で意味を持っていて、フレーズは文の中で意味を持っていて、文は段落の中で意味を持っています。



歴史の中の語意

言葉の意味は、時間が経つと変わることがあります。釈義の際に気をつけるべきことは、過去の著者と聴衆にとっての意味を理解することです。

また、同じ言葉が使われているとしても、箇所によって意味が変わる場合もあります。例：「眠る」という言葉は睡眠を取ることを意味することが多いです。例えばイエス・キリストが嵐の中で枕をして眠られるときに使われます（マルコ 4:38）。しかし、人の死を表すこともあります（I テサロニケ 4:15）

語意を理解するための質問:

- その言葉にどのような形容詞が使われていますか。
- 比喩／比較はされていますか。
- 聖書の他の部分で同じ言葉が使われていますか。どのように使われていますか。
- その言葉がなければ、箇所の意味はどのように変わりますか。
- 周りの言葉／フレーズ／文を見て意味を見出すことができますか。
- 文脈の中で、その言葉はどのような意味をもっていますか。

段階 1 | 結果



釈義とは、聖書の文脈を意識しながら丁寧に読むことです。釈義を通して、ある著者があ
る時代の特定の聴衆に何を伝えようとしていたかを調べます。その時代の著者の伝えたい
ことが文章の本旨なのです。

なぜ文章の本旨を見出す必要があるのか

「聖書箇所をテーマを短い、はっきりとした文章として書き留めるまでは、説教をしては
ならない。その短い文章が出来上がるまでが、準備の中で一番苦しく、最も実りのある作
業なのです。」 J.H Jowett (Register 2014. ertyい、はっきりとした文章として書き留めるまでは、説教を
してはならない。その短い文章が出

文章の本旨を書き留めるためには

主題: 著者は何について語っているか

補足: 著者はその主題について何を言っているか

分かりやすく以上のことを組み合わせる。

主題: 著者は何について語っているか

箇所の中心的なテーマを見出す。

 ヤコブ 1:5-8 は何について語っていますか。

補足: 著者はその主題について何を言っているか

そのテーマについて著者がどう考えているかを見出す。

 ヤコブ 1:5-8 は主題に関して何を言っていますか。

はっきりとさせる

主題: 大まかに言えば、主題は「知恵」だと言えます。しかし、もっと的を絞って言えば、「知恵を得る方法」です。さらに2-4節を見ると、「試練の中で知恵を得る方法」がより正確な主題だと言えるでしょう。

補足: 「信仰をもって神様に願うこと」。

分かりやすい本旨を書くには：

- 一つの文にする
- 複雑になってしまうので、接続詞を避ける（と、しかし、だから）
- 印象に残る表現を使う

本旨に関するアドバイス

一つの本旨が見つからないとき、一つ以上の本旨があるときはどうすればいい？

一つだけの本旨を見出すのは難しいです。取り扱っている聖書箇所を縮小・拡大する必要もあるかもしれません。

何回も挑戦しよう！

聖書箇所を、一つの本旨にまとめるのはとても難しい作業です。5回くらい、色々な本旨を考えてみて、その中で一番箇所を表しているものを選ぶと良いです。そのために、聖書箇所が取り扱っていると思われる主題をひたすら書き出してみます。次に、その中で一つの主題を選び、その主題を補足している内容を書き出します。この作業を他の主題に関して繰り返します。

文章の本旨は、全体的な本旨とは異なる

- 文章の本旨は普遍的な概念ではなく、その時代に語られているものに限定されるので、普遍的な言葉を含まないはずで

段階1 | まとめ

ツール 1.1 ジャンル	
ツール 1.2 歴史的背景	
ツール 1.3 構成	
ツール 1.4 語意理解	
文章の本旨 (過去の著者は過去の聴衆に何を伝えようとしていた)	



19. 教える：解釈①

解釈- 段階の説明

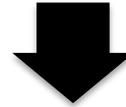
解釈というのは、文章をどのように理解するかを考えることです。聖書を正しく理解するためにいくつかのツールを使います。そのツールを使って、神様が超越的に何を語っておられるかを見出します。

課題: 神様は全ての人に何を伝えようとしているのか？

結果: 超越的な本旨

釈義

古代の文章を丁寧に読み返し、過去の著者が過去の聴衆に何を伝えようとしていたのかについて考える。



解釈

釈義で発見した著者の本旨が超越的にどのような意味を持っているのかを見出す。

超越的な本旨にたどりつくまで

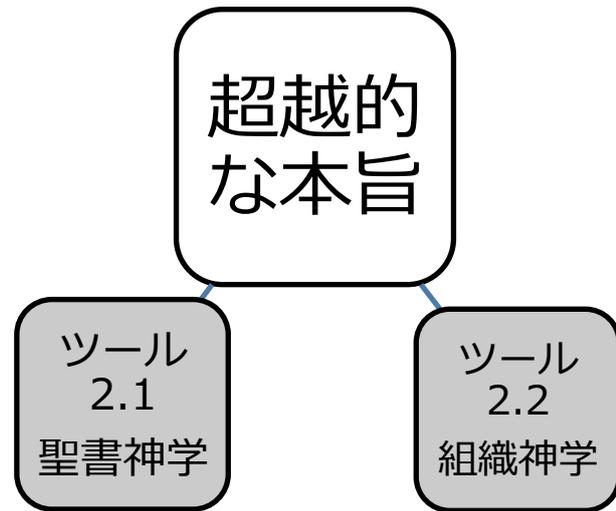
釈義の段階では、古代の世界に飛び込み、著者が古代の聴衆に何を伝えようとしていたのかを見ていきます。解釈の段階では、神学的に聖書箇所を振り返ります。そして、過去の時代に神様が語ったことが、私たちにとってどのような意味を持つのかを考えます。神様が全ての人に語っておられることが何かを考えるのです。この2段階を踏まえて、私たちは超越的な、また神学的な真理——超越的な本旨——にたどり着くのです。この真理はどの時代でも通用するものであり、私たちが置かれている時代の聴衆にも理解されるべき真理なのです。

 以下のことわざの釈義的な本旨、超越的な本旨を書き出してみましょう。

<p>「猿も木から落ちる」</p> <p>釈義的な本旨 (時代に定められた、特定な言葉) 木登りに長けた猿であっても、時には木から落ちる。</p> <p>超越的な本旨 (超越的な、一般的な言葉): 達人と呼ばれるような者であっても、失敗することがある。</p>	<p>「猫に小判」</p> <p>釈義的な本旨 (時代に定められた、特定な言葉)</p> <p>超越的な本旨 (超越的な、一般的な言葉):</p>
--	---

超越的な本旨を理解するためのツール

一つの箇所を超越的な真理を知るためには、御子イエス・キリストを中心とする聖書全体で、神様が何を語っているのかを知る必要があります。解釈に必要なのは神学的なツールです。それは、聖書全体を見る神学的なレンズです。



	聖書神学	組織神学
意味	イエス・キリストが中心である聖書全体の流れを意識しながら、聖書箇所を解釈する。	聖書全体が、ある一つの課題についてどのように語っているかを意識しながら、聖書箇所を解釈する。
特徴	聖書が一貫していて、一つの物語を語っていることを大切にしている。 イエス・キリストが物語の中心にある。旧約聖書はイエス・キリストまでの話で、新約聖書はイエス・キリストからの話である。 歴史の中での神様の啓示を大切にしている。	キリスト教の信仰と教理を論理的にまとめている。 重要な真理を課題ごとに整理している（例：祈り、聖霊、罪）。 教理と実践的な適用を大切にしている。 神様の計画や各聖書箇所のジャンルにはあまり関心がない。

二つのレンズ

聖書神学と組織神学

は、聖書を解釈する

ためのレンズです。このレンズを通し

て聖書箇所を読むと、積義的な本旨を

超越的な本旨に書き換えることができます。

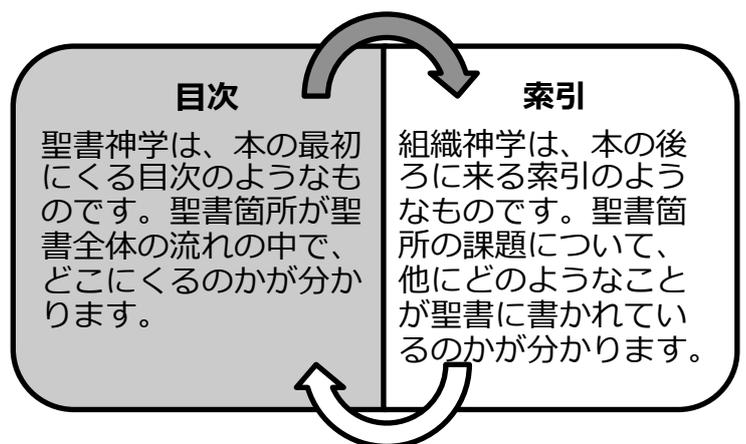
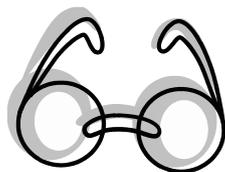
このツールが大切な理由は、一

つの聖書箇所だけでは得られない、聖

書全体の語りかけを教えてくれるからです。このツールを使って、神様が聖書を通して何

を語っておられるのかを理解することができます。また、一つの箇所だけから好き勝手に

意味を読み込むことを避けることもできます。



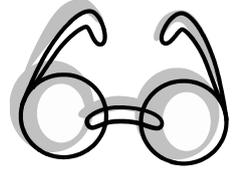
目次

聖書神学は、本の最初にくる目次のようなものです。聖書箇所が聖書全体の流れの中で、どこにくるのかが分かります。

索引

組織神学は、本の後ろに来る索引のようなものです。聖書箇所の課題について、他にどのようなことが聖書に書かれているのかが分かります。

ツール 2.1 | 聖書神学



聖書神学：イエス・キリストが中心である聖書全体の流れを意識しながら、聖書箇所を解釈する。

聖書神学の根本にあるのは、聖書が別々の話をたまたま集めて作られた本ではなく、一貫性のある本だという理解です。聖書とは神が著作した一つの物語なのです。そして、その物語とは、いっさいのものがイエス・キリストにあって、一つに集められるという神の計画を語っています(エペソ 1:10)。

救いの全体像

「救いの全体像」は神様の物語を簡単にまとめてくれるツールです。救いの全体像を意識して聖書箇所を読むと、その箇所の超越的な意味を読み取ることができるのです。

 **ピリピ 4:4-5** は各項目とどのような繋がりがありますか？箱に書いてみましょう。例が書いてあります。

神は創造主なので、祈りを聞く力がある。

最初の日

暗い日

イエス・キリスト

最後の日には主が戻ってくるので、一番近くなります。

最後の日

今日

5つの項目 - 1つの物語

最初の日

ここは神の世界です

神

唯一の神
世界を造られた
世界を保たれている

世界

神の力と善を表している
平和といのちの場所

人間

世界を管理し、世界のものを楽しむために造られた

暗い日

しかし、神の世界に悪が忍び込んで来たのです

最初の人間

傲慢になり神様から独立しようとした
悪の可能性を世界に持ち込んだ

悪

神様の世界の四方に広がっている
争いと死の源である

全ての人間

悪に縛られている
神様から独立しようとしている

イエス・キリスト

神はご自分の愛のゆえに、御子イエス・キリストを世界に使わされた。イエス・キリストは悪を打ち破り、世界を新しくされる。

生涯

完全に神、完全に人間である
神に感謝し、神に従い、神に信頼した

死

悪を行った私たちの贖いとして
悪の奴隷となった私たちを救うために

復活

新しい人間の一人目として
新しい世界の主として

ツール 2.1

聖書神学

神様の物語と聖書
箇所の本旨を繋げるためのツール

最後の日

キリストは再び世界に戻り、世界を新しくする御業を完成します

イエス・キリスト

主として表される

世界

悪は完全に滅びる
いのちと平和な場所として新しくされる

人間

全て復活し裁かれる
神に立ち返るもの：いのち
神から独立しているもの：断罪

今日

だから今日は希望の日です

イエス・キリスト

主として
赦す権利を持っておられる
新しいいのちを与えることができる

全ての人が命令されている

悪から離れ
キリストによる神の憐れみを受け取りなさいと

神の贈り物

悪との関わりに対する赦し
聖霊と聖霊からくる感謝をもって従うために必要な力
イエス・キリストと同じような、最後の日の復活

20. 事務：引継ぎ

引継ぎに必要なこと

持続可能な活動のために引継ぎは不可欠です。リーダーや役員の役割を担っている間だけ一生懸命奉仕をしても、引継ぎのことを考えなければ次の世代は続きませんし、引継ぎがうまくいかないと後の役員が燃え尽きたりして活動が長く続きません。引継ぎは、自分がリーダーや役員をしている期間中に考えておくべきことです。

引継ぎの内容

次の世代に丁寧に引き継がれることで、後任の役員は奉仕がしやすくなり、活動の本質について考える時間をより多く持つことができます。そのために必要な内容を押さえておきましょう。

スピリットの継承

まず大切なのはスピリット（活動において大事にしてきたこと）を継承することです。学内グループがどのようなスピリットに立って活動してきたかは、活動内容の土台となります。現役員が KGK スピリットを自分の言葉で説明できるようにし、後輩に引き継いでいきましょう。

歴史の継承

また、学内グループの歴史を継承することも大切です。なぜ、どのように学内活動が始まったのか、KGK のブロックや地区、主事との関わりはどのようなものであったか、学内グループの危機はどのような時で、どのようにその危機を乗り越えたのか、ということが今の学内グループを形成しています。学内グループのアイデンティティを保つために、歴史をまとめて継承しましょう。

実務

実務面もしっかりと引き継いでいきましょう。各役職の役割やイベントの企画運営の仕方など、できるだけまとめて引き継ぎましょう。また、議事録やプログラムなど「実際にどのようにしたか」を後輩たちが見ることができる資料もまとめておきましょう。

役員を選ぶポイント

引継ぎにおいては、「誰に引き継ぐか」も大切なことです。

 次期リーダーを考えると、どういう関係を持っている人がいいと思いますか。

- 神との関係
- 自分との関係
- 人との関係

個人の趣味ではなく、KGKブックレット「リーダーシップの手引き」を参照しながら話し合しましょう。

役員の依頼

役員の依頼にもコツがあります。ここでは ACTS という方法を紹介します。

ACTS

Ask with a vision ビジョンを説明した上で依頼する。

| 何でこの依頼は大事なのか？何を求めているのか？

Connect gifts with needs 賜物と必要を繋げる

| 何でこの人に依頼しているのか？その人の賜物をどのように生かそうと思っているのか？

Training 訓練

| 奉仕内容をしっかりと説明する。必要であれば訓練もする。

Support サポート

| 一人にさせないようにサポートを与える

役員のフォローアップ

引継ぎが終わった後も新役員に丸投げしないようにしましょう。リーダーが孤独を感じやすいことは、それを経験したあなたが一番よく知っているはずです。

私たちが奉仕を嫌いになる理由は

1. 認められていない。
2. 必要とされていない。
3. やっていることが評価されない。

 役員が落ち込まないようにどのように励ましますか。

21. 教える：解釈②

聖書神学の課題

#1 | 旧約聖書は救いの全体像を映す陰



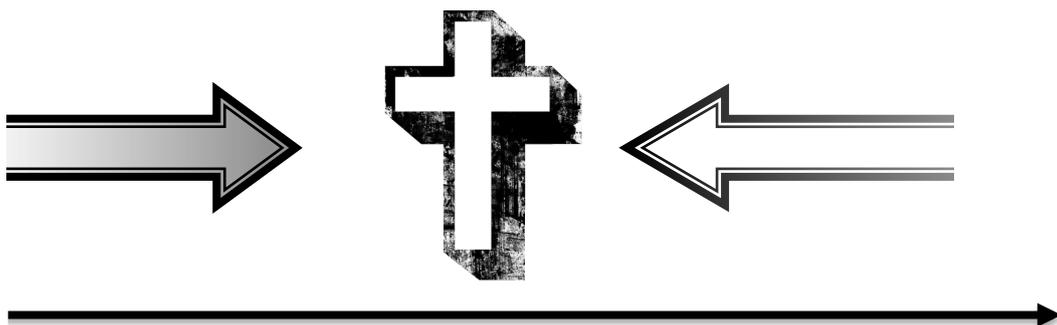
旧約聖書は簡単に言えば、「救いの全体像」の物語の影のようなものです。影なので、救いの全体像のレプリカではありません。旧約聖書ではイエス・キリストの名前は一切登場しません。しかし、影というものは、形は違っていても、確かに現実とは似ているので、現実を映し出すものでもあります。ですから、旧約聖書にはイエス・キリストの名前は登場しませんが、「救い主はどのような方か」「神の民は救い主にどのように応答すべきか」などの預言については書かれています。旧約聖書は影として、全体像を映し出し、その理解を深めます。旧約聖書抜きに聖書研究はあり得ません。旧約聖書の神は新約聖書の神と同じ方であり、その神様は同じ計画とみこころを持っておられるのです。

#2 | 旧約聖書と聖書神学のタイムライン

旧約聖書はイエス・キリストについて語っています。そして、神様の全体的な物語に関連しています。このことは以下の箇所から分かります：

- ルカ 24:44-47 - 旧約聖書で、福音について語っている
- 1 コリント 10:11 - 旧約聖書で、譬えと警告を書き記している
- 2 コリント 1:18-20 - 旧約聖書で、神の約束がキリストによって成就されると教えている

イエス・キリストが神様の大きな物語の中心であるので、聖書神学のタイムラインはイエス・キリストを中心と考えるのです。



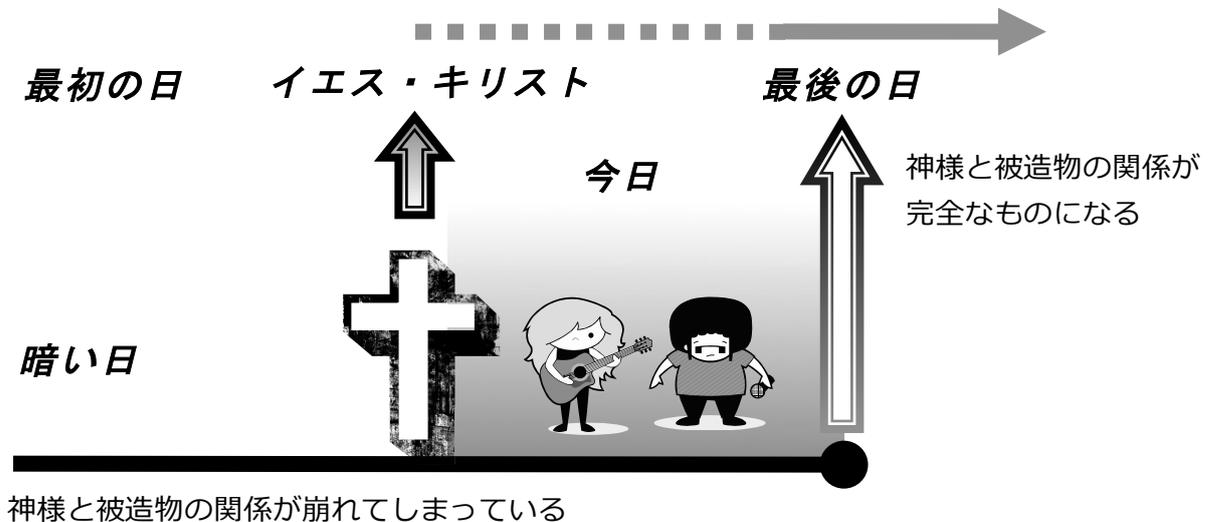
#3 | 福音のレンズ



聖書神学で大切なのは、聖書箇所と聖書全体の関連性に注目することです。この二つのものは互いのことを解釈してくれるのです。「福音が聖書箇所を解釈し、聖書箇所が福音を明らかにする」(Goldsworthy 2001, *The Goldsworthy Trilogy*, p. 126)。一つの聖書箇所と聖書全体の物語は対話的な関係を持っています。

#4 | 時代の重なり

もう一つ意識しなければならないのは、私たちはまだ物語の終わりには辿りついていないということです。神の国はイエス・キリストの死と復活によってもたらされ、聖霊は現在も注がれています。しかし、神の国はイエス・キリストの来臨によって完成されるのです。私たちはキリストの到来と来臨の間に生きているのです。この時代の重なりを意識することによって、聖書箇所に登場する約束が、キリストによって既に成就されたのか、来臨の時に成就されるのが分かります。「すでに」と「いまだ」の狭間、そのような時代に私たちは生きている。



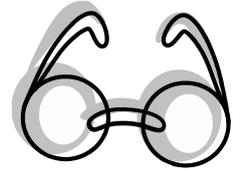
助けになる質問

聖書箇所を深く考えることによって、神様が聖研のメンバーに何を語ろうとしているのか見出すことができます。

- 神様について何が書かれていますか？
- 人間について何が書かれていますか？
- イエス・キリストによって神がなされていることについて新しい理解を与えてくれますか？
- イエス・キリストを主として従うことに関して何を教えていますか？

ツール 2.2 | 組織神学

組織神学：聖書全体が一つの課題についてどう語っているかを意識しながら、聖書箇所を解釈する。



組織神学のプロセス

- #1 | 聖書箇所の課題を確認する：釈義的な本旨を書いた後、箇所の課題を書き出してみる (例: 祈り、洗礼など)。
- #2 | 聖書はこの課題について何を教えていますか？この課題についての聖書箇所は他に何がありますか？
- #3 | 一部分と全体との関係：一つの聖書箇所と聖書全体が、それぞれ課題について何を書いているのかを比べる。
- #4 | 本旨の修正：聖書全体が課題についてどう教えているか分かると、その内容を含んだ本旨が書ける。また、聖書全体で語られていないことを本旨から取り出すこともできる。

 **ヤコブ 4:1-5 を読んでみましょう。釈義的な本旨は何ですか？ピリピ 4:4-7 はこの本旨にどのような影響を与えますか？**

ヤコブ 4:1-5 の課題が「祈り」だとします。ヤコブの箇所では、正しい動機を持って祈ることの大切さを語っています。神の敵になることを願ってはいけないと言います。しかし、祈りについて理解を深めるには、他の箇所で祈りについてどのように書かれているかも調べる必要があります。例えば、ピリピ 4:4-7 では「何も思い煩わないで、あらゆる場合に願い事を神に知ってもらいなさい」と書いてあります。

神学的な筋肉を鍛えるためには：

聖書神学と組織神学は時間をかけて磨く能力でもあります。最初は不自然に感じるかもしれませんが、神学的な繋がりを探せば探すほど、作業は簡単になります。しかし、いくつか注意をしなければならないこともあります：

- 聖書箇所と聖書全体を無理矢理に関連させる必要はありません。関連している範囲は限られているかもしれません。
- 一つの箇所の理解を他の箇所によって深めるのは良いことですが、引用箇所の釈義と神学的な内容を吟味していなければ、軽々しく引用しない方が良いでしょう。

聖書を読み、学び続けると、頭の中で神学的な図書館を作り上げていくことができます。そうすれば、聖書箇所を全体の教えと関連しやすくなります。

段階 2 | 結果：超越的な本旨 この段階の目的は積義的な本旨を超越的な本旨に書き変えるということでした。

この作業に必要な二つのツールを見てきました：

聖書神学 - 聖書全体の物語をレンズとして、聖書全体のテーマと概念を意識しながら、積義的な本旨を超越的な本旨に書き変える。

組織神学 - 聖書全体が聖書箇所の記事についてどう語っているのかを意識しながら積義的な本旨を超越的な本旨に書き変える。



積義的な本旨

(古代の著者は、古代の聴衆に何を伝えようとしていたのか?)

聖書神学

(この箇所はキリストを中心とする聖書全体の物語とどのように関連しているか?)

組織神学

(この箇所の課題は、聖書全体の教えとどのように関連しているか?)

超越的な本旨

神様は全ての人に何を伝えようとしているか?

22. 教える：適用①

適用- 段階の説明

適用では、神様の永遠の真理がどのようにして生活に適用するのかを考えます。一般的な教えを個人に当てはめ、具体的な行動をもたらすための質問を考えます。

課題: 神様の語りかけを聞いて、現代の聴衆にどう変わってほしいですか。

結果: 適用

*注意: この段階では、適用の質問をいくつか考えておけばいいということではありません。聴衆が聖書箇所全体を理解し、その箇所を個人的、共同的な生活に繋げられるように導くことがリーダーの役割なのです。

 「聖書を聴衆に適用させていなければ、聖書を教えていることにはなりません。」この発言をどう思いますか。適用はなぜ必要ですか。聖書を適用しなければどういった問題が起こりますか。

適用の大切さ

「聖研に適用が必要なのは、聖書が神のことばだからです。聖書を研究するのは、神からの語りかけを聞いて、その結果、神を愛し、神の民として歩むためです。適用は熱心な人のためのおまけではなく、聖研の目的そのものなのです。聖書を研究するのは適用するためです。適用をしなければ聖書を研究する意味がありません。」(Morris 1997, Leading Better Bible Studies, p. 62)

自分
から!

まず自分から!

聖書箇所を自分に適用してから聴衆に適用させることが大切です。聖研は学問的な学びではありません。神の御言葉を聞いて変わる学びなのです。そして、聴衆だけではなく、自分自身も変わります。聖研リーダーとして努めるには、まず自分が神様から

教わる必要があります。一番良い聖研はリーダーが個人的に変えられた聖研ではないでしょうか。神様の語りかけによって生活が変わると、その確信は聴衆にも伝わります。

 これから聖書を自分の生活に適應させるためには、何ができますか。

聴衆のための適用

適用の根底にあるのは、神様の御言葉によっての変化です。

「神様のことばと出会ってこのように変わってほしい」というものが適用なのです。なぜ、具体的な適用が必要なの？具体的な適用は、聖書のことばに現実性を持たせます。ディスカッションを結論に持っていくためのものでもあります。学問的な話で終わらないで、人生が変わる話にさせます。



適用を書くために

ツール 3.1 | 聖書箇所を理解する



適用を書くためには、まず聖書箇所の本旨を見つけることが必要です。

釈義と神学的な解釈をした結果、聖書箇所の本旨を書くことができます。本旨とはその聖書箇所の中心的な課題と考えを一つの文章にまとめたものです。適用は、この超越的な本旨を現実生かすためのもの

です。適用は御言葉から発するものでないといけません。そうでなければ、

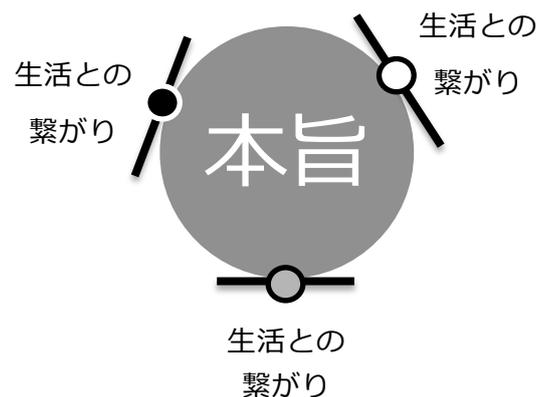
良い教えであっても、人生を変える、キリスト教的な教えにはなりません。

釈義と解釈の段階を丁寧にすれば、聖書箇所をしっかりと理解することができます。そして、本旨がはっきりと分かれば、適用もそこからはっきりと現れてきます。

 聖書箇所の中心的な本旨は何ですか。一つの文章にしてみましょう。

ツール 3.2 | 聴衆を理解する

聖書には実践的な適応は書かれていません。聖書は真理を語ります。私たちはその真理を実践するためにふさわしい適用を考える必要があります。適用は聴衆の状況によって変わるので、本旨が聴衆にとってどのような意味を持つのかまず考える必要があります。本旨と聴衆の生活の繋がりを理解するため

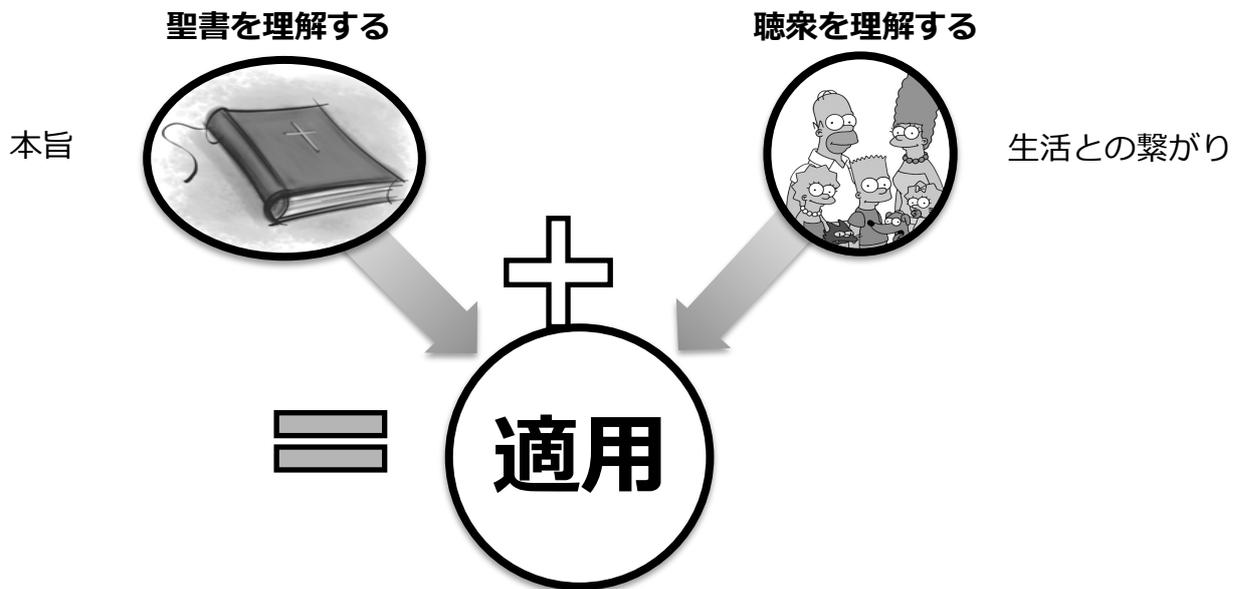


には、まず聖研のメンバーの生活を知る必要があります。聴衆を知るためには牧会的能力が必要ですが、これは聖研リーダーを長くやればやるほど、磨ける能力です。聖研リーダーは聖書だけではなく、人をよく知る必要があるのです。

 本旨に対して、メンバーはどのような考え、態度、質問を持っていますか。

適用をことばにする

適用は本旨と生活との繋がりを繋げたときにできるものです。聖書箇所から分かることと、聴衆から分かることを合体させて、その聴衆に求めている変化を適用として書きます。



適用では以下の質問を聞くのです：「神様の語りかけを聞いて、現代の聴衆にどう変わってほしいですか」

課題：「神様の語りかけを聞いて、現代の聴衆にどう変わってほしいですか」
質問：「この聖研から出ていくとき、この聖書箇所はメンバーの人生をどう変えるのですか」

答え：「この聖研から出ていくとき、メンバーに [適用] のように変わってほしい」
成熟したクリスチャンは頭、心、手が神様のことばによって変えられているクリスチャンです。ですから、適用も、私たちの考え方、感じ方、行動を指摘するものになるのです。



頭
キリストらしい
考え方



心
キリストらしい
態度



手
キリストらしい
行動

適用を考えると、人を holistic(全人的)に見る必要があります。信じているものは考えを影響し、考えているものは行動を影響します。頭・心・手は繋がっているので、適用はどれかに注目すればいいのです。

頭: 知識や理解

心: 信じていることや態度

手: 行動や実践

どの適用を目指すかによって適用の動詞が変わって来ます:

頭: 「…を知ってほしい …を理解してもらいたい」

心: 「…を信じてほしい…を感じてほしい…を喜んでほしい …を愛してほしい」

手: 「…をしてほしい…を変えてほしい …に挑戦してほしい」

なぜ具体的な適用が必要なのか?

具体的な適用は聖研でどこを目指しているのかをはっきりさせます。適用を明確に持っているるとリードしやすくなります。目指している適用によって、聖書の学び方が変わってきます。適応にたどり着くまで、どのように学んでいけばいいのかが見えてきます。

聖書の学び方には様々なことを意識する必要があります:

- 学びの雰囲気 (振り返り、実践的)
- 質問
- 活動
- 時間の使い方

 頭・心・手のいずれかに関係している適用を思い起こしてください。この適用にたどり着くまで、どのような学びが一番ふさわしいのでしょうか。

- 聖研の雰囲気はどのようなものだと思いますか。
- どのような質問をしますか。
- どのような活動をしますか。
- 時間の流れは何が一番いいと思いますか。



23. 教える：適用②

聴衆を理解するため

メンバーに関しての理解は、聖書を教えるために不可欠な知識です。メンバーを知らなければ聖書を教えることはできません。釈義や解釈を深めるために注解書を読んだり、神学的な講義を聞いたりすることも必要ですが、自分の聴衆を理解し、聴衆の細かい状況を知れるのはあなたしかいません。聴衆に関しての知識は、リーダー自身の理解が一番役立ちます。ということは、リーダーとして釈義や解釈にかける時間と同じくらいの時間を、現代の聴衆を理解するために使うべきなのです。

残念ながら、私たちは多くの場合、聴衆を理解することを忘れてしまいます。なぜなら、私たちは聖書の学びだけをリードすればいいと思ってしまうからです。私たちは聖書の学びをリードしているのではなく、人をリードしているのです。そして、どこに向かってリードしているかというと、それは、キリストのように成長できるようにリードしているのです。

聴衆を理解していなければ



聴衆の状況を考えずに聖研をリードすると、せっかく準備してきた学びが無効になってしまうかもしれません。

聴衆を理解していれば



聴衆の状況にあった学びをすれば、本旨がメンバーの生活の中で生かされ、考え方、感じ方、行動が変わります。

1. 聖研のメンバーを理解するために以下の質問に答えてみましょう。

一般的知識

- 年齢
- 仕事・学位
- 家族構成（一人暮らし、実家暮らし、交際中、既婚、子供いる）
- 課題(みんな大学の課題のストレスを感じている)

霊的な状態

- 福音に反対しているノンクリスチャン
- 福音に興味をもっているノンクリスチャン
- 試練に会っているクリスチャン
- 確信がないクリスチャン
- 成長していて、神様との関係が深まっているクリスチャン

特別な事情

- 励ましが必要
- 戒めが必要
- 教育が必要

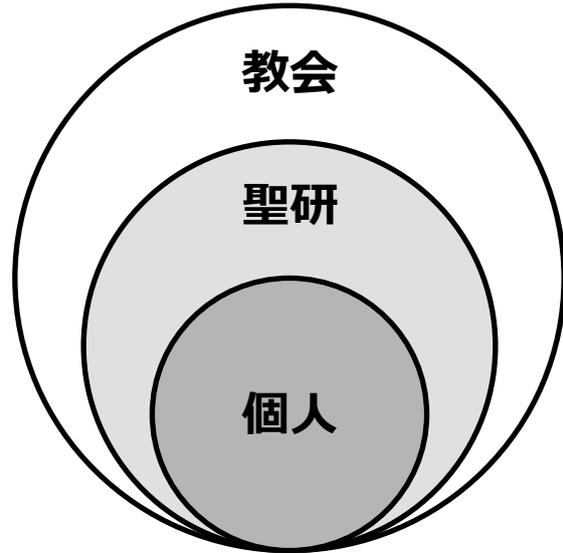
本旨についてのメンバーの質問

適用をもっと深めるには

1. 広い適用、狭い適用

- 一般的な適用
- 教会での適用
- K GK での適用
- 聴衆の個人的な適用

聖書は全ての項目に対して語っているので、私たちも広い意味での適用を意識するといいです。個人的な適用で終わらせてしまうのは聖書のことばを小さくしてしまうことです。



2. 考えから行動へ：適用には具体的な行動が大切です。聖書箇所への応答として具体的な行動をひとつかふたつ考えておくといいです。その行動について話し合うとき、「すればいい」ではなく、「します」と宣言すると行動に移しやすくなります。

3. メンバーに気を配る：“Good application will comfort the afflicted and afflict the comforted.”（良い適用は、傷ついた人を慰めるが、安心しきった人を傷つける。）慰めと挑戦のバランスを保つことが大切です。鋭い適用であっても、傷つけるものは避けましょう。そして、謙遜に、自分が変わらなければならない所を認めながら適用を勧めましょう。

4. 多様な適用：聖研のメンバーがそれぞれ違う状況にあるとき、ふさわしい適用を考えるのが難しい場合もあります。この場合、一般のメンバーに合う適用とは別に、そうでないメンバーを意識した適用も考える必要があるかもしれません。

5. 適用は一つだけ？？？ いいえ。聖書箇所自体には特定な意味があり、その意味を探り出すのに時間がかかります。しかし、適用は人によって違ってきます。それぞれが自分の状況にあったふさわしい応答をすることが求められています。

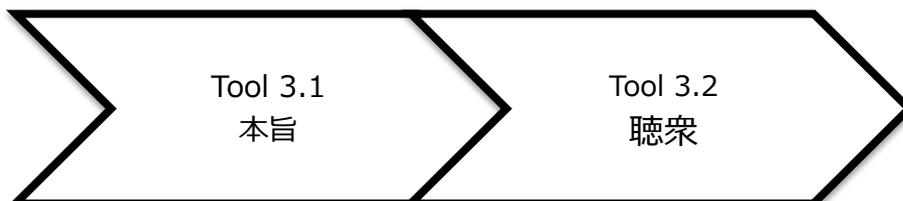
段階のまとめ



- **課題:** 「過去の著者は過去の聴衆へ何を伝えようとしていたか？」
- **結果:** 釈義的な本旨

- **課題:** 「神様は全ての人へ何を伝えようとしているか？」
- **結果:** 超越的な本旨

- **課題:** 「神様の語りかけを聞いて、現代の聴衆にどう変わってほしいか？」
- **結果:** 適用



24: : 付録 : ジャンルについて

手紙

特徴

- 特定の人、または特定の状況に応答して書かれているものが多い。著者の「応答」が分かっているにもかかわらず、その応答をもたらした聴衆の状況や問題が分からない場合が多い。
- キリスト教神学を説明するために書かれたものではない。神学は登場するが、それは特定な問題への応答である。
- ある課題について、論理的に考えを述べている。

原則

- 著者が書いている状況を想像してみる。手紙の宛先では何が起こり、著者は何に回答して手紙を書いているか考えてみる。
- 手紙を一回全部読んで流れをつかむ。
- 段落ごとに手紙を分析して、各段落がどのように手紙の趣旨と関連しているのか考えてみる。著者が部分的に、また全体的に、何を言おうとしているのか考える。
- 過去の聴衆に対して言われていない内容は、現代の私たちに言われているはずがない。
- 現在の私たちが手紙の聴衆と似た状況にいるならば、過去の聴衆への神の言葉は私たちへの言葉でもある。

聖書からの例 | 手紙

1 神のみこころにより、キリスト・イエスにあるいのちの約束によって、キリスト・イエスの使徒となったパウロから、2 愛する子テモテへ。父なる神および私たちの主キリスト・イエスから、恵みとあわれみと平安がありますように。(2 テモテ 1:1-2) 1 そこで、わが子よ。キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。2 多くの証人の前で私から聞いたことを、他の人にも教える力のある忠実な人たちにゆだねなさい。(2 テモテ 2:1-2)

パウロがテモテに手紙を書いていることが分かる。パウロは自分の教えが将来も、忠実な人たちに委ねられていくことを願っている。手紙の目的は、テモテがパウロの教えを忠実な人に委ね、その人たちもまた忠実な人に委ね、その人たちもまた忠実な人に委ねるということだ。

物語

注意: 物語はよくフィクション思われるが、実話も物語として書かれることもある。

特徴

- 物語には必ずあらすじと登場人物がある。
- 旧約聖書の物語には三層あると言える：
 - 上 - 創造物の中で成就していく神様の普遍的なご計画
 - 中 - イスラエルと神様との関係
 - 下 - 個人の物語、例：ダビデとバテシェバの姦淫
- 個人の物語を理解するためには他の層の物語も意識する必要がある。
- 物語は課題に対する解決を与えるために書かれている訳ではない。
- 旧約聖書の物語は律法や教理とは違って、直接教えを述べてはいない。人の経験を物語ることによって、私たちに神様の性質と啓示を表してくれる。
- 他の箇所で命じられていることを照明することが多い。必ず一つの物語に一つの教え／メッセージが含まれている訳ではない。部分部分を通してよりは、全体を通して語ることが多い。

原則

- 旧約聖書の物語は、一般的に教理を直接述べない。他の箇所の教理を照明することの方が多。だから、物語から教理的な教えを読み取ることがせず、代わりに、他の箇所の教理をどのように照明しているのか考えるとよい。例：ダビデとバテシェバの姦淫の物語では姦淫が罪だとは書いていない。物語の著者は姦淫が間違っているということのを他の箇所（出エジプト 20:14 など）からすでに理解していることを前提としている。
- 物語は起こった出来事をそのまま語る。いつも起こるべきことを語っている訳ではないし、必ず模範となる人が登場する訳でもない。旧約聖書の登場人物は不完全であり、行動も不完全である。
- 物語、特に旧約聖書の物語、を現代の比喻として考えることは間違っている。
- 一つ二つの言葉やフレーズに注目するより、全体的な流れを見ることの方が大切。
- 物語は特別に「あなた」について語っていない。神様は「あなた」に物語の登場人物と全く同じ人生を生きてほしいと願っていない。

聖書的な例 | 物語: 出エジプト 1:1-2:10 - モーセを通しての神の働きの始まり

終末論的

特徴

- 一般的には試練や危機の時に書かれたものが多く、信徒の慰めのためのものが多い。
- 預言者の言葉から引用していることが多い。終末論的に書く著者は預言者の約束を自分の時代に向かって再び主張することが多い。
- 象徴的なものが多く、幻の記録が次々登場することが多い。動物が国を表し、角は力を表している。特定の数字しか使われていない（3, 3 1/2, 4, 5, 6, 7, 10, 12 とその倍数）3 はよく霊的な世界（善と悪両方）を表すために使われていて、4 は地球の数字として使われる。3+4=7 で完全数である。色も象徴的に使われる。白は勝利, 赤は争い (戦争など), 薄い色は死を表している。
- 終末論的な文章では二つの概念が重要である:
- 善と悪との戦い
- 現在と将来の時代の比較

原則

- 全てを文字通りに読む必要はない
- 象徴の意味を調べる必要がある。
- 著者は象徴を用いて何を伝えようとしているのかを見出してみるとよい。
- 箇所が書かれた時代の歴史的背景を調べるとよい。

聖書的な例 | 終末論的: 黙示録 とダニエル 7 章

詩

特徴:

- 聖書の 3 分の 1 は詩として書かれている。ヘブル語の詩は豊かで簡潔であり、繰り返しが多い。
- 他の詩と同様、様々なイメージを紹介する。普通の話し言葉では使わない構成をもっている。ヘブルの詩の特徴的なものはパラレリズム（並行法）である。

- パラレリズムには3種類ある：

- 比喩的パラレリズム：後の行が前の行の概念を繰り返す：

1行	A	B
2行	A1	B1

(詩編 24:1-3)

- 対称的パラレリズム：比喩的な概念を使って概念を表す (例：あざける者/知恵のあるもの)。箴言によく使われている詩である (箴言 9:8 など)。

悪い使者はわざわざに陥り、
忠実な使者は人をいやす。(箴言 13:17)

- 合成的パラレリズム：2行が1行の考えを完成させる。例：詩編 65:1, 3 :
1行, 2行, 1行, 2行として書き出している)

1 神よ。あなたの御前には静けさがあり、シオンには賛美があります。
あなたに誓いが果たされますように。

3 咎が私を圧倒しています。
しかし、あなたは、私たちのそむきの罪を赦してくださいます。

原則:

- ヘブルの詩では一つの行は他の行とセットになっている。同時に読んで意味を理解する必要がある。
- 一つ一つの言葉の意味より、句の全体の意味を理解する必要がある。

聖書的な例 | 詩: 詩編と雅歌

寓話

特徴:

- 寓話とは、一般的な経験や状況を用いて霊的なことを説明する比喻である。
- 一つの本旨をもっている。何の変哲もないように見えるからこそ一気に世の見方を変える。
- 知的な刺激として使われたのではない。細かい内容は物事を分かりやすくするためにある。

原則:

- 一つ一つのものがそれぞれ、必ず何かを直接表しているというわけではない。
- 寓話が使われていたその時代の状況を知る。
- その時代の人にとって衝撃的なポイントが何だったのかをわきまえる。
- 寓話のテーマを考える。
- 寓話は誰のために話され、どのような効果をもたらすために話されたか考える。

聖書的例 | 寓話: マルコ 4 章- 種まきの譬え

その他のジャンル:

- **福音書**- 福音書はイエス・キリストの生涯、目的、死と復活に注目している。例：マルコ。物語のジャンルと似ている。
- **律法**- 特定な時代で、神様と関係を持つために必要であった生き方を書いている。例：レビ記。
- **寓話**- 象徴を通して霊的な真理が分かるように（または分からないように）語っている。比喻が多い。例：マルコ 4 章。
- **預言**- 神様が何をされるか、そしてなぜそれをされるか教え、神のご計画を表す。例：イザヤ書。
- **祈り**- 神様の民の神様への語りかけ。例：詩編 51.
- **説教**- 神様の民に向けての教え。証明、説明、勧めが含まれる。例：マタイ 5-7。
- **知恵** - どのようにして生活すればいいか具体的な教え。例：箴言。

参考文献

アウグスバーガー、デビッド 1997. 親身にぶつかる. 平野ふみ子、平野英里訳. すぐ書房.

Graeme Goldsworthy 2001. *The Goldworthy Trilogy: (Gospel and Kingdom, Gospel and Wisdom, The Gospel in Revelation)*. Paternoster, Crownhill.

KGK. 2010. 学生の伝道.

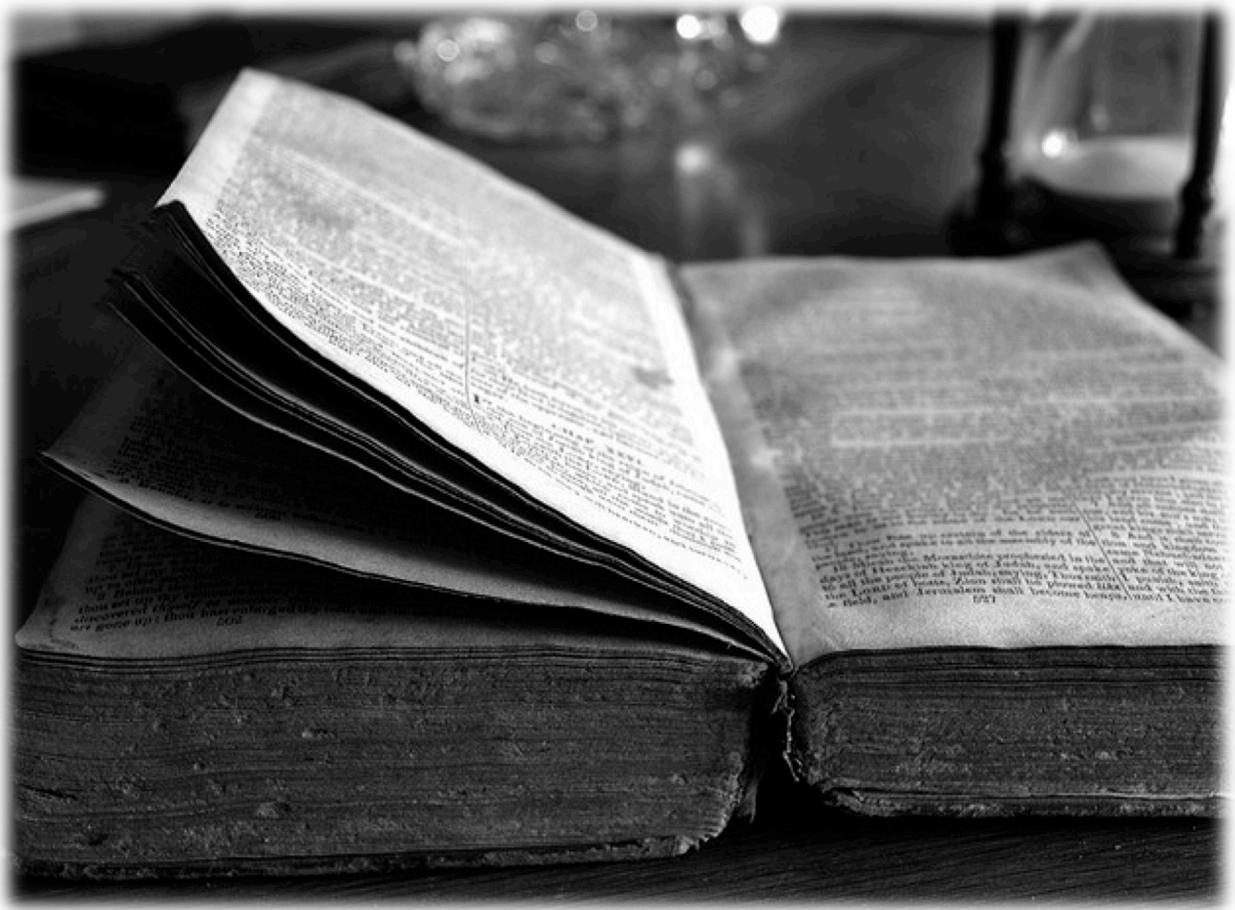
KGK. 1998. リーダーシップの手引き

Marshall, Colin 1995. *Growth Groups*. Matthias Media, Sydney.

Morris, Rod and Karen 1997. *Leading Better Bible Studies*. Aquila Press, Sydney.

Register, Dean 2014. "John Henry Jowett: A Passion for Preaching."

<http://www.preaching.com/resources/past-masters/11628034/>



はじめよう、聖研リーダー (PART 2)

発行日

2014年1月9日

発行

キリスト者学生会 102-62 東京都千代田区神田駿河台 2-1 OCCビル3階

電話 03-3294-6916

FAX 03-3294-6050

Email: office@kgkjapan.net

編集

浅田美由紀、スミス・ナオミ、中西健彦、野村天路、ラベット・ステイシー

© EU Graduates Fund、シドニー

本ブックレットはシドニー大学 Evangelical Union (Australian Fellowship of Evangelical Students の関連グループ) のブックレットを参考にしています。EU Graduates Fund、シドニーの許可を得て発行しています。再発行・配布・転送はご遠慮下さい。問い合わせは KGK までお願いします。